

3. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

3.1 技術相談

3.1.1 技術相談

中小企業などから受ける技術支援の依頼に対して、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図った。生産現場での支援が必要な場合は、職員や外部専門家を現地に派遣して利用者の要望に応えた。

相談件数は、来所 27,746 件(20.1%)、電話 53,930 件(39.0%)、メール 44,495 件(32.2%)、その他 11,994 件(8.7%)であり、総相談件数は 138,165 件であった。企業規模別では中小企業 106,939 件(77.4%)であり、技術分野別では材料、評価技術、エレクトロニクスが多かった。

企業規模別の技術相談件数（件）

区分	来所	電話	メール	その他	合計	比率(%)
一般	5,643	8,063	10,047	2,272	26,025	18.8
中小企業	21,741	44,357	32,049	8,792	106,939	77.4
中小企業団体	163	455	477	264	1,359	1.0
公益法人等	199	1,055	1,922	666	3,842	2.8
合計	27,746	53,930	44,495	11,994	138,165	100

技術分野別の技術相談件数（件）

区分	来所	電話	メール	その他	合計	比率(%)
ナノテクノロジー	31	220	162	115	528	0.4
IT	557	1,865	3,173	15	5,610	4.1
エレクトロニクス	4,461	6,213	3,987	285	14,946	10.8
システムデザイン	1,955	3,280	2,463	1,441	9,139	6.6
環境	1,969	3,648	2,256	140	8,013	5.8
少子高齢・福祉	742	1,120	1,118	73	3,053	2.2
バイオテクノロジー	117	390	348	46	901	0.7
材料	5,148	9,711	8,801	1,629	25,289	18.3
精密加工	2,024	1,906	2,078	764	6,772	4.9
光音・照明	1,069	2,151	3,430	191	6,841	5.0
繊維	2,032	3,387	1,287	543	7,249	5.2
放射線	466	3,256	3,153	166	7,041	5.1
評価技術	6,195	11,023	4,408	1,108	22,734	16.5
技術連携	61	552	704	411	1,728	1.3
ロボット	24	751	1,040	319	2,134	1.5
その他	895	4,457	6,087	4,748	16,187	11.7
合計	27,746	53,930	44,495	11,994	138,165	100

3.1.2 総合支援窓口

(1) ご利用カード発行状況

依頼試験・機器利用等の試験の受け付けをスピーディーに行うために、本部・支所のいずれかで登録すれば共通して使用できる「ご利用カード」を平成18年度から導入した。11年間で約4万8千枚のカードを発行し、お客さまへのサービス向上を実現した。

「ご利用カード」発行枚数（枚）

事業所	累計枚数	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成18～23年度
本部	35,003	2,406	3,294	3,200	4,242	4,515	17,346
城東支所	2,184	232	181	201	220	132	1,218
墨田支所	2,377	168	296	273	229	184	1,227
城南支所	1,935	64	98	77	105	117	1,474
旧駒沢支所	372	—	—	—	—	—	372
多摩テクノプラザ	6,203	753	732	694	700	754	2,570
合計	48,074	3,623	4,601	4,445	5,496	5,702	24,207

*本部は旧西が丘本部分、多摩テクノプラザは旧多摩・八王子支所分を含む。

(2) 料金収納状況

料金収納方法について、お客さまの利便性を考慮して平成18年度より現金以外にコンビニ収納や銀行振込による取り扱いを開始した。平成20年度よりクレジットカードおよびデビットカードによる支払いも可能とした。

料金収納状況

支払い方法	現金	コンビニ	銀行振込	クレジットカード	デビットカード	合計
支払い件数（件）	16,877	2,286	9,128	4,034	0	32,325
支払い金額（千円）	173,043	16,148	358,247	83,283	0	630,721
金額比率（％）	27.4	2.6	56.8	13.2	0	100.0

3.1.3 専門相談員

本事業は、本部総合支援窓口に専門相談員を置き、中小企業の製品化実現に向けて幅広く対応し支援するものである。平成 28 年度の相談実績は 128 件であった。専門相談員 8 名の技術分野は次のとおりである。

専門相談員氏名	技術分野
朝比奈奎一	機械
安城泰雄	環境マネジメント
生島 博	知的財産専門
金田光範	通信、情報、機能安全
高村悦夫	技術経営（自動車）
田中敬三	計測分析システム
野口英明	工業デザイン
原島なほみ	マーケティング

<主な相談事例>

イメージする顧客の絞り込み、適切な価格設定などの戦略策定
先行知財の調査や出願登録の計画立案
意匠設計
ソフトウェアを組み込む製品の安全性確保
試作と評価の情報の設計へのフィードバック
工場の安全確保や生産性向上のためのプロセスマネジメント

3.1.4 実地技術支援事業

都内中小企業の要請により、職員や外部専門家（エンジニアリングアドバイザー・技術指導員）が現地に出向き、現場が抱えている技術的諸問題について 3 種類の方法で技術支援を実施した。

平成 28 年度は、エンジニアリングアドバイザーによる支援（実地技術支援 A）40 社 178 日、技術指導員と職員による支援（実地技術支援 B）63 日、職員による支援（実地技術支援 C）927 日であった。技術分野別では、システムデザイン、環境、材料、エレクトロニクスが多かった。目的別では、製品開発、技術開発が多かった。

<実地技術支援 A の主な支援内容>

CE マーケティング・海外規格取得に関する支援
デザイン開発・設計・販売促進に関する支援
品質管理・品質評価に関する支援
製造コスト削減と販路開拓
システム設計・構築に関する支援

技術分野別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率 (%)
ナノテクノロジー	0	0	9	9	0.8
IT	9	1	57	67	5.7
エレクトロニクス	12	4	110	126	10.8
システムデザイン	74	31	103	208	17.8
環境	11	4	131	146	12.5
少子高齢・福祉	0	0	19	19	1.6
バイオテクノロジー	1	2	26	29	2.5
材料	9	9	120	138	11.8
精密加工	0	1	82	83	7.1
光音・照明	34	3	52	89	7.6
繊維	3	1	37	41	3.5
放射線	0	0	1	1	0.1
評価技術	6	2	89	97	8.3
技術連携	0	2	17	19	1.6
ロボット	1	1	1	3	0.3
その他	18	2	73	93	8.0
合 計	178	63	927	1168	100

目的別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率 (%)
品質証明	5	0	26	31	2.7
品質管理	11	9	89	109	9.3
性能評価	1	4	70	75	6.4
製品開発	117	30	448	595	50.9
技術開発	13	4	123	140	12.0
事故関連	1	2	41	44	3.8
その他	30	14	130	174	14.9
合 計	178	63	927	1168	100

3.2 依頼試験

3.2.1 依頼試験

中小企業の生産活動に必要な製品、部品、材料などについて、各種の試験、測定、分析、設計を実施し、成績証明書を発行した。製品開発に関わる工業デザインの依頼にも対応した。さらに、これらの試験を通して、企業における技術開発、製品開発、品質改善および事故品の原因究明などの技術支援を実施した。

平成 28 年度の依頼試験の実績を以下の表に、試験件数の目的別構成比および地域別構成比を図 1 および 2 に示す。

平成 28 年度依頼試験（試験項目別）実績

試験項目	試験件数	金額（円）
一 材料試験		
(一) 強度試験 引張試験、製品の荷重試験、静的強度試験、硬さ試験ほか	16,959	42,555,365
(二) 特性試験 金属材料の疲れ試験、材料の熱膨張試験、耐熱試験ほか	577	8,637,912
(三) 組織試験 光学式顕微鏡によるもの、透過型電子顕微鏡によるもの	1,852	5,309,827
(四) 非破壊検査 エックス線透過試験、エックス CT スキャン試験、 透過写真判定、線量測定	25,340	30,838,619
(五) 塗料の物性試験 基盤目試験、鉛筆引っかき試験、テーバ式摩耗試験ほか	690	1,743,268
(六) 表面処理皮膜試験 皮膜厚さ測定、色彩測定、ボールディスク乾燥摩擦試験ほか	2,209	5,574,472
(七) 照射試験 イオン注入装置によるイオン注入、セシウム 137 によるガンマ線 照射	178	417,218
(八) 成形性試験 絞り試験、高温絞り試験、エリクセン試験、球頭張出し試験	20	25,264
小 計	47,825	95,101,945
二 精密測定		
(一) 機械・器具等の精密測定 長さ測定、表面粗さ・形状測定機による測定、歯車の測定、 走査型白色干渉測定器による測定ほか	4,468	9,115,549
(二) 核種等の測定 放射線計数装置、液体シンチレーション計数装置によるものほか	1,692	3,106,821
小 計	6,160	12,222,370
三 化学試験		
(一) 化学分析 容量法による試験、重量法による試験ほか	177	839,464

試験項目	試験件数	金額（円）
(二) 機器分析 赤外線分光光度計、スパーク放電発光分光分析装置、 エネルギー分散型エックス線分析装置、走査型電子顕微鏡、 イオンクロマトグラフによるものほか	7,543	69,153,345
(三) 窯業試験 ひずみ観察、表面応力測定、ガラスの破損事故解析ほか	461	1,007,257
(四) 化学製品等の性能試験 製品の防かび試験、耐薬品試験ほか	1,508	7,079,644
小 計	9,689	78,079,710
四 機械器具・装置等の性能試験		
(一) 性能試験 耐久試験、応力・ひずみ測定、振動測定・解析ほか	2,151	3,642,565
(二) メカトロニクス・ロボット性能試験 高速度撮影、落下試験ほか	1,494	203,052
(三) ロボットによる耐久性試験 低頻度、中頻度、高頻度	401	62,733
小 計	4,046	3,908,350
五 電気試験		
(一) 校正試験 電圧計、電流計、抵抗計、抵抗箱、標準電圧電流発生器、 デジタル計器ほか	1,519	1,122,313
(三) 測温素子の温度特性試験 熱電対、測温抵抗体	558	1,574,214
(五) 絶縁試験 絶縁抵抗試験、耐電圧試験、衝撃耐電圧試験、衝撃電流試験、 絶縁破壊試験、漏れ電流試験ほか	4,203	13,117,195
(六) 構造および性能試験 機能的強度試験、温度上昇試験、開閉試験、誘電率・誘電正接試 験、消費電力試験ほか	1,698	6,535,189
(七) 部品および材料の電気特性試験 動作特性試験、磁気特性試験ほか	55	775,912
(九) 電子機器・電子部品試験 電子機器特性試験、電子部品試験	2,752	4,599,885
(十) 静電気試験 帯電電荷量試験	10	43,360
(十一) 電波暗室試験 10m電波暗室、3m電波暗室、電波ノイズ試験室ほか	2,070	19,217,291
小 計	12,865	46,985,359
六 音響試験		
(一) 材料の音響特性試験 残響室法吸音率測定、音響透過損失測定、制振性能測定、 垂直入射吸音率測定ほか	4,751	12,259,346

試験項目	試験件数	金額（円）
(二) 材料および装置の音響特性試験 音圧・騒音・振動レベル測定、オクターブバンド分析ほか	1,833	10,052,209
小 計	6,584	22,311,555
七 照明試験		
(一) 材料試験 反射率・透過率測定、赤外分光放射測定ほか	1,438	15,084,002
(二) 機器および光源の試験 光度・光束測定、照度、輝度測定、配光測定、分光放射照度測定、 分光透過率・反射率測定ほか	1,005	11,550,023
小 計	2,443	26,634,025
八 環境試験		
(一) 振動試験 動電形振動試験機によるもの(加振、共振、伝達特性、衝撃試験)	2,598	17,827,449
(二) 腐食試験 塩水噴霧試験、ガス腐食試験	17,798	16,515,831
(三) 耐候性試験 促進耐候試験(サンシャインカーボンアーク灯式、キセノン アーク灯式)、促進耐光試験(紫外線カーボンアーク灯式)ほか	8,483	60,940,234
(四) 温湿度試験 恒温試験、恒温恒湿試験、冷熱衝撃試験、温湿度サイクル試験	4,176	9,523,388
小 計	33,055	104,806,902
九 材料および製品の加工		
(一) 機械加工 油圧プレス加工、フライス盤加工、旋盤加工ほか	335	1,762,363
(三) 金属粉末積層造形品の後加工 熱処理、ビルドプレート、サポート処理、バレル研磨	1,255	1,237,647
小 計	1,590	3,000,010
十 デザイン		
(一) 工業デザイン	1,759	338,969
(三) グラフィックデザイン	3	5,337
小 計	1,762	344,306
十一 繊維製品試験および試験的加工		
(一) 繊維工業用原料および材料・繊維製品等の試験 繊維製品等の物性試験(質量、密度、番手・繊度、引張強さ・伸 び率、寸法変化、防水性等)、染色仕上げ加工試験(染色堅ろう度 試験、浸染試験等)、ホルムアルデヒド試験、光学的試験、クレ ーム解析試験ほか	7,337	10,712,250
(二) 繊維製品のデザイン 繊維製品デザイン、織物・ニットの設計・分解ほか	27	36,930

試験項目	試験件数	金額（円）
(三) 繊維・編織物等の試験的加工 編織準備(ねん糸、繰り返し、整経等)、 編織(編成)コンピュータ制御編機、染色仕上げ加工	1,064	290,513
小 計	8,428	11,039,693
十二 成績証明書の交付		
成績証明書および成績証明書(副本)の交付ほか	5,267	1,017,270
成績証明書および成績証明書(副本)等の交付に当たって 郵送する場合の手数料等	3,752	1,896,070
小 計	9,019	2,913,340
端数処理に伴う減額		▲56,185
急速料金 依頼試験料金の100%増額	(394)	1,686,160
震災復興技術支援 依頼試験料金の50%減額	(3,360)	▲6,053,830
総 合 計	143,466	402,923,710

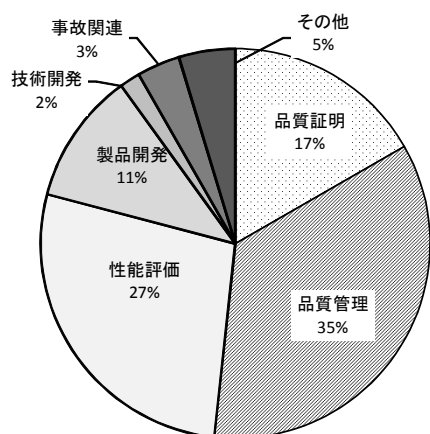


図1 依頼試験件数の目的別構成率

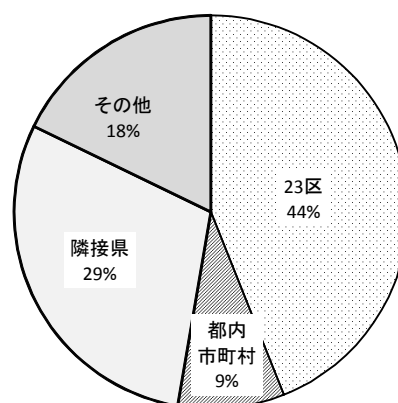


図2 依頼試験件数の地域別構成率

(※隣接県は、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県)

3.2.2 オーダーメイド試験

依頼試験の実施要綱に定められていない試験項目あるいはJISなどの規定にない試験に関してはオーダーメイド試験として対応し、利用者の多様な要望に対応した。

平成28年度には、211件、13,202,880円を実施した。

オーダーメイド試験の依頼目的は、品質証明24件、品質管理50件、性能評価65件、製品開発31件、技術開発23件、事故関連5件、その他13件であった。

3.2.3 校正事業者および試験所認定制度への取り組み

平成 18 年度より、校正事業者登録制度による依頼試験業務を開始した。また、平成 20 年より英文の校正証明書の発行を開始した。都産技研の発行する校正証明書および試験報告書は世界 95 国・地域、91 機関（平成 29 年 3 月現在）で有効である。

平成 27 年度、JCSS（長さ）認定を取得し、登録分野が 6 分野に拡大した。国際的な試験品質保証体系である事業を推進することで、都内中小企業の海外における事業展開を積極的に支援している。

(1) 計量法校正事業者登録制度（JCSS）

都産技研本部は、電気（直流・低周波）、温度（熱電対）、および長さ（一次元寸法測定器）の区分で国際 MRA 対応の JCSS（計量法校正事業者登録制度）登録認定を受けており、ILAC MRA 付き JCSS 認定シンボルの入った校正証明書を発行可能である。都産技研が発行する JCSS 校正証明書は、ILAC に加盟する世界中の国々で有効である。平成 28 年 8 月に長さの校正手法（一次元寸法測定器および形状測定器）の追加登録が認定された。



当センターは、認定基準として ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

当センターは、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0184 は、当センターの認定番号です。

(2) 多摩テクノプラザ EMC サイトの試験所認定制度（VLAC）

多摩テクノプラザ EMC サイトは、平成 24 年度に株式会社電磁環境試験所認定センター（VLAC）より ISO/IEC 17025 試験所認定を受けた。現在の認定範囲は、VCCI、FCC Part15 SubPartB、CISPR22、ICES-003、J55022（4 章）の規格に基づいた 10 m 法電波暗室での放射妨害波試験、伝導妨害波試験（電源ポート）および伝導妨害波試験（通信ポート）の EMC 試験である。平成 25 年度から認定範囲における規格適合確認試験および英文の試験成績書の発行を開始した。平成 29 年 2 月には VLAC の試験所認定審査により試験適合評価を受け、認定登録を更新した。



(3) 試験事業者登録制度（JNLA）登録

都産技研本部は、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）より、JNLA 試験事業者として国際 MRA に対応した登録認定を受けており、照明器具電气的特性試験（全光束、消費電力）、光源色試験（色彩）および金属材料引張試験では、国際相互承認シンボルを付与した試験報告書の発行が可能である。また、平成 26 年より施行された、電球形 LED ランプのトップランナー制度適合性確認試験も可能であり、平成 28 年度は 33 件実施した。



当センターは、APLAC 及び ILAC の相互承認の署名者である IA Japan により認定された試験所であり、認定国際基準に対応しています。

JNLA 140361JP は当センターの認定番号です。

3.2.4 環境計量証明事業の登録

依頼試験などの測定分析業務において信頼性の高いデータを提供するため、平成 20 年度に区分「濃度」、「音圧レベル」、「振動加速度レベル」の計量証明事業者登録を完了した。平成 23 年 10 月の本部移転後も、試験実施体制を再整備し、事業を継続している。計量証明用設備の管理を徹底し、担当者のスキル向上に取り組むことで、充実した受け入れ態勢を継続している。

3.3 機器整備

3.3.1 機器整備一覧

平成 28 年度は、新たに発足した 3D ものづくりセクターおよび先端材料開発セクターの機器や、機器利用でのニーズが高い機器を中心に全 81 機種を整備した。平成 28 年度の主な機器整備は以下のとおりである。

平成 28 年度機器整備実績

	機 器 名	事業所	組織
1	メモリハイコーダ	本部	電気電子技術 G
2	ミリ波プローブステーション		電気電子技術 G
3	スピコータ		電気電子技術 G
4	電流センタ		電気電子技術 G
5	ミックスドドメインオシロスコープ		電気電子技術 G
6	微小硬度計		機械技術 G
7	ロックウェル硬度計		機械技術 G
8	実稼動モード解析機能付 FFT アナライザ		機械技術 G
9	弓鋸盤		機械技術 G
10	熱間埋込機		機械技術 G
11	多機能型摩擦摩耗試験機 ※JKA 補助		機械技術 G
12	騒音計		光音技術 G
13	ハイパースペクトルカメラ		光音技術 G
14	高性能蛍光 X 線膜厚計		表面・化学技術 G
15	分光光度計		環境技術 G
16	保冷库		環境技術 G
17	椅子の耐久性試験機		環境技術 G
18	超低温槽		バイオ応用技術 G
19	水系ゲル濾過クロマトグラフィー		バイオ応用技術 G
20	動的粘弾性測定装置		バイオ応用技術 G
21	USB3.0 高速通信試験システム		情報技術 G
22	立体物印刷対応 UV プリンター		デザイン技術 G
23	可搬型 X 線応力測定装置		3D ものづくり S
24	弾性体ブラスト研磨機		3D ものづくり S
25	CMM 精度チェック用標準器		3D ものづくり S
26	卓上三次元測定機		3D ものづくり S
27	ゼータ電位・粒子径分布・個数カウント装置		先端材料開発 S
28	微粉碎分散用ビーズミル		先端材料開発 S
29	スクリーン印刷機器		先端材料開発 S
30	大気中光電子収量分光装置		先端材料開発 S
31	真空脱泡攪拌ミキサ		先端材料開発 S
32	融点測定装置		先端材料開発 S

	機 器 名	事業所	組織
33	卓上型ランプ加熱装置	本部	先端材料開発 S
34	静電気試験器		実証試験 S
35	直交流発生器		実証試験 S
36	高精度ブリッジ		実証試験 S
37	微小硬さ試験機		実証試験 S
38	恒温恒湿槽		実証試験 S
39	抵抗セル		実証試験 S
40	乾燥機	城東支所	城東支所
41	レーザー変位計	墨田支所	生活技術開発 S
42	生体信号収録・解析システム		生活技術開発 S
43	デジタルフラジール形通気度試験機		生活技術開発 S
44	X線 CT データ 3D 解析システム	城南支所	城南支所
45	プログラマブル AC/DC 電源	多摩 テクノ プラザ	電子・機械 G
46	電磁界シミュレータ		電子・機械 G
47	高電圧差動プローブ		電子・機械 G
48	フライス盤		電子・機械 G
49	生物顕微鏡システム		複合素材開発 S
50	恒温恒湿槽		複合素材開発 S

※組織名の表記について、「G」グループの略、「S」セクターの略

※（公財）JKA の公設工業試験研究所等における研究開発型機械設備拡充事業による。

※ロボット産業活性化事業の実施に伴う機器整備は、「2.4 ロボット産業活性化事業」を参照。

3.3.2 経済産業省平成 28 年度補正予算事業による機器整備

経済産業省平成 28 年度補正予算事業「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域未来投資の活性化のための基盤強化事業）」に応募し、「医療・福祉・介護機器用 IoT センサーモジュールの開発支援等事業」が平成 28 年 12 月 20 日付で採択された。

本事業は、関東圏で公設試連携体を構成している 5 公設試（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市）が連携し、印刷・同関連業の中小企業が保有する薄膜化技術を応用した医療・福祉・介護向け IoT センサーモジュールの開発支援を行い、将来的に医療・福祉・介護分野におけるものづくりの IoT 化を推進し、地域イノベーションを創出することを目的としている。

そのための機器整備として、平成 29 年度には 5 公設試に計 7 機種を導入予定である。うち都産技研では、粘度・動的粘弾性測定器とデバイスの電機特性測定器を先端材料開発セクターに導入する。

3.4 機器利用

中小企業が製品開発や新技術開発を行う際に、自ら保有・管理することが困難な各種の測定器や試験機器・設備などを設置し、新製品開発や品質管理などの生産活動を支援した。また、その使用法や試験データの解析法について技術的なアドバイスをを行った。平成28年度の機器利用の実績は以下のとおりである。

平成28年度機器利用（試験項目別）実績

No.	機器利用試験項目	件数	金額（円）
1	指示計器（絶縁抵抗計）	147	163,590
2	定数測定器・測定用素子（ミリオームメータ）	463	235,430
3	電圧・周波数測定器（デジタルマルチメータ）	539	197,496
4	信号発生器および発振器（高周波ノイズシミュレータ）	2,106	2,189,869
5	校正装置（計器用変成器）	292	71,052
6	波形測定器・記録装置（温度記録計）	3,175	4,195,200
7	電源装置その他（電圧調整器）	3,088	1,702,417
8	試験機械（万能試験機）	3,916	3,554,349
9	測定機器（三次元測定機）	9,554	16,311,053
10	環境試験機器（恒温恒湿槽）	40,841	44,077,898
11	試験機器（耐電圧試験器）	342	369,801
12	記録解析装置（デジタルシリアルアナライザ）	439	700,461
13	観察機器（マイクロフォーカスX線CT）	3,031	12,193,755
14	クリーンルームおよび関連機器（クリーンルーム）	521	335,848
15	加工機器（プリント配線板試作装置）	14	65,660
16	切削加工機械（普通旋盤）	1,674	1,005,466
17	設計・生産支援装置（ナイロン粉末造形装置）	37,660	48,534,127
18	ナノテクノロジー加工装置（レーザーマーカ）	518	1,141,092
19	その他の加工機械（マイクロハイスコープ）	1,874	1,359,733
20	繊維計測・生産加工機器（インクジェットプリントシステム）	3,696	4,277,358
21	電波暗室・測定システム（シールドルーム）	2,897	5,621,700
22	メカトロニクス試験・ロボット開発支援機器・計測制御機器	2,820	378,836
23	生活科学計測機器	4,117	10,410,625
24	指導料（機器利用指導、放射線施設利用に伴う技術指導）	10,561	13,903,027
端数処理に伴う減額			▲59,253
震災復興技術支援 機器利用料金の50%減額			(1,813) ▲1,461,830
総合計		134,285	171,474,760

3.4.1 機器利用ライセンス制度

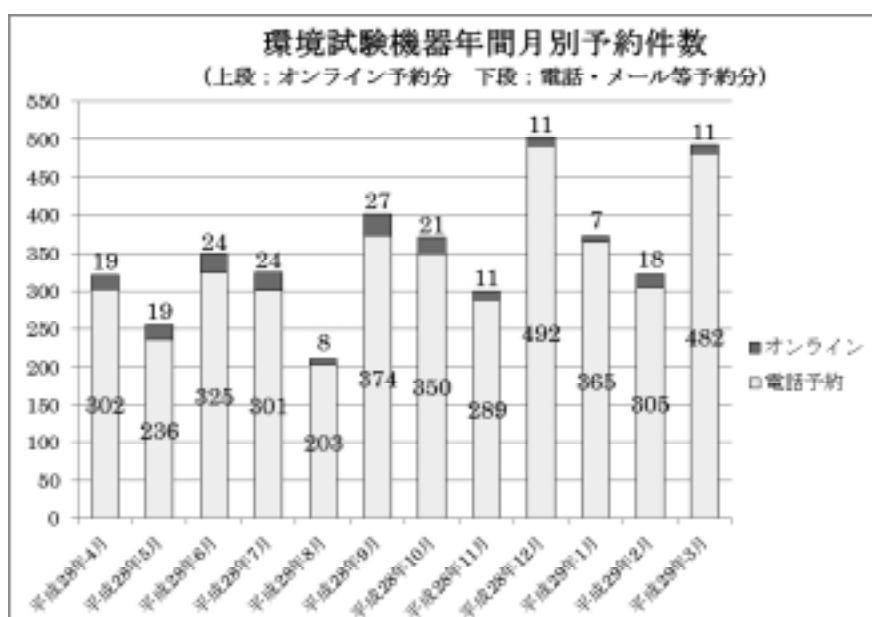
平成 24 年 2 月から機器利用ライセンス制度を導入し、今まで要望が多かった高性能で操作に習熟が必要な装置を対象機器とした。現在、対象機器は合計 16 機種である。利用希望者には利用方法習得セミナーの受講後「機器利用ライセンスカード」を交付した。平成 28 年度は 180 枚の機器利用ライセンスカードを発行し、累計発行枚数は 568 枚となった。

「機器利用ライセンスカード」発行枚数（累計）

ライセンス制度対象機器	発行枚数（枚）
分析機能付き走査電子顕微鏡	186
キセノンフラッシュアナライザー	70
スタジオ撮影システム	7
蛍光 X 線分析装置(波長分散型)	28
X 線回折装置	77
マグネトロンスパッタ	2
スクラッチ試験機	22
万能試験機（20kN）	40
万能試験機（100kN）	40
絶対 PL 量子収率測定装置	5
音響管	30
ハイパワーキセノンフラッシュアナライザー	9
フーリエ変換赤外分光光度計	1
分析機能付き走査電子顕微鏡（多摩テクノプラザ）	14
走査型白色干渉測定機（多摩テクノプラザ）	29
分析機能付き走査電子顕微鏡（城南支所）	8

3.4.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での予約申し込み受け付けの提供

平成 23 年度から、実証試験セクターの機器利用設備において、ウェブサイト上で機器利用可能情報、機器の仕様などの情報提供を開始した。平成 28 年度は多摩テクノプラザや全支所の機器利用設備を新たに加えて 442 機種（本部：214 機種、多摩テクノプラザ：94 機種、城東支所：44 機種、墨田支所：58 機種、城南支所：32 機種）の情報提供を開始した。実証試験セクターの予約可能 29 機種については、インターネット経由での予約申し込み受け付けを継続して行った。



3.5 災害復興支援

3.5.1 都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免

「災害復興技術支援に係る料金減額措置実施要綱」を策定するとともに、東日本大震災および平成 28 年熊本地震で直接的・間接的に大きな影響を受けた中小企業を支援するため、特定被災区域および都内の中小企業を対象として、依頼試験料金などの 50%減額を実施した。

<東日本大震災>

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、青森県、千葉県、新潟県、長野県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 5 号（ハ）」または「東日本大震災復興緊急保証」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

平成 28 年度利用実績：4,813 件（依頼試験＋機器利用件数合計）

0 件（オーダーメイド試験）

3 件（オーダーメイド開発支援）

<平成 28 年熊本地震>

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、熊本県、大分県、鹿児島県、長崎県、宮崎県、佐賀県、福岡県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 4 号」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 28 年 8 月 1 日から平成 33 年 7 月 31 日まで

平成 28 年度利用実績：360 件（依頼試験＋機器利用件数合計）

0 件（オーダーメイド試験）

1 件（オーダーメイド開発支援）

3.5.2 工業製品等の放射線量測定試験

東京電力福島第一原子力発電所事故による都内工業製品の風評被害を防ぐために開始した放射線量測定と成績証明書の発行を継続実施した。また、都内中小企業の依頼試験手数料無料および大型試験品の出張測定についても継続した。平成 28 年度の試験実績は以下のとおりである。

平成 28 年度試験実績

	持ち込み試験		出張試験	
	実施件数	成績証明書 発行枚数	実施件数	成績証明書 発行枚数
都内中小企業	45	37	1	1
都内中小企業以外	1	1	0	0
都外企業	1	1	0	0
合計	47	39	1	1

3.5.3 東京都との協定に基づく放射線量測定試験

都産技研は平成 19 年 3 月に東京都産業労働局と締結した「放射線物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、空間線量率測定および大気浮遊塵の放射線量測定を平成 28 年度も継続実施した。

(1) 空間線量率測定

本部に設置したモニタリングポストによりデータ収集を継続実施した。平成 24 年 4 月 11 日から、測定結果は東京都健康安全研究センターのウェブサイトに都内他地域の測定結果とともに公表している。

(2) 大気浮遊塵の放射能測定

都産技研では昭和 50 年から継続的に環境放射能の測定を旧駒沢支所（世田谷区深沢）で実施していた。本部移転後も平成 23 年 10 月 13 日から捕集を開始し、測定を継続実施した。I-131、I-132、Cs-134、Cs-137 の測定結果は、東京都産業労働局ウェブサイトで毎日公表されている。なお、平成 28 年 1 月に発生した北朝鮮の地下核実験に対して、東京都との協定に基づき緊急測定体制を整備して測定結果を速やかに東京都に報告した。また、平成 28 年 9 月 9 日の北朝鮮の核実験の実施を受け、9 月 9 日 16 時から 9 月 16 日 16 時まで捕集時間を通常の 24 時間ごとから 8 時間ごと（1 日 3 回）に変更し、測定対応した。

3.5.4 節電・省エネ技術支援の実施

平成 23 年 6 月 27 日に開始した、工場などで使用する照明器具の照度・電力、エアコンの電力、温度分布などの現場での測定事業（省エネ巡回）を、平成 28 年度も無料で継続した。

・平成 28 年度節電・省エネ技術支援実施回数（省エネ巡回実施回数） 計 0 回

3.5.5 公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業

都産技研は全国 68 機関で構成される全国公立鉦工業試験研究機関長協議会の会長機関として、放射線・放射能の正しい理解を促す目的で平成 23 年度に作成した企業向けの放射線対策ガイドを平成 28 年度も無料で配布した。

・技術冊子の配付

書名：「放射線・放射能の基礎と測定の実際」（平成 23 年 1 月 31 日発行）

配布部数： 152 部

3.6 高付加価値開発支援

3.6.1 3Dものづくりセクター

「3Dものづくりセクター（平成28年4月新設）」では、3D技術やリバースエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援する。

(1) アディティブ・マニュファクチャリング（AM）設備による試作・製作支援

AM(3Dプリンター)ラボ1では、金属粉末積層造形装置およびワイヤー放電加工機など、AM(3Dプリンター)ラボ2では、主にナイロン粉末造形装置により、医療器具などの試作・製作支援を行った。平成28年度は、金属粉末積層造形品の品質向上のために、可搬型X線応力測定装置、弾性体ブラスト装置などを新たに導入した。

(2) 三次元CADデータ作成等のデジタルエンジニアリング支援

三次元CAD/CAEシステム、パターン投影式3Dデジタイザーなどによりさまざまな工業用製品の試作・製作支援を行った。平成28年度は、デジタルエンジニアリングの高度化を目指して構造最適設計ソフトウェアを新たに導入した。

(3) 製品の品質評価支援

長さ測定の試験（寸法測定器の校正）では、JCSS校正証明書の発行可能な測定器の種類について、座標測定機用校正ゲージなどの校正手法の追加登録が8月に認定された。

(4) 情報発信・情報提供の推進

1) パンフレット作成 2,600部

2) 展示会出展

産業交流展（10月）、METALEX 2016（11月）、3D Printing 2017展（2月）

3) 広報誌、新聞等掲載

日刊工業新聞（1月19日）、TIRI News（2月号特集）

4) 講演

① 「都産技研における3D技術を活用した支援事例について（神奈川県ものづくり技術交流会）」（10月）

② 「樹脂PBFの環境依存性（第7回AMシンポジウム）」（1月）

③ 「金属粉末AM(3Dプリンター)による3Dものづくり支援（都産技研循環型技術研究会産学公技術交流会）」（2月）

④ 「金属積層造形（金属3Dプリンター）の特徴とその活用方法（日系企業技術交流会2017 in バンコク）」（3月）

平成28年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

3Dものづくりセクター利用実績（件）

平成28年度利用実績	24,448
------------	--------

3.6.2 先端材料開発セクター

「先端材料開発セクター（平成 28 年 4 月新設）」では、機能性材料、環境対応製品など先端材料製品の開発に用いる高度先端機器を集中配置し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。中でも以下を柱と位置付けている。

- ① 分析機器・特性解析装置を活用した技術支援
- ② 粉体プロセス機器を活用した微粒子応用材料の開発支援
- ③ 印刷機を活用した機能部材の開発支援

これらの支援を円滑に実施するため、平成 28 年度は、前年度まで高度分析開発セクターが所管し、本部 1 階に集中的に設置した先端的な機器分析装置を引き継いだほか、本部 4 階にビーズミルなどの粉体プロセス機器とスクリーン印刷関連機器を集中配置した。

(1) 研究開発成果の応用展開

- ・炭素系ナノ材料を液中で安定的に分散させる技術を応用展開し、中小企業と共同研究を行ってきた「熱物性測定用試料の前処理剤」の製品化につなげた。
- ・微粉末触媒を担体に担持させる技術を応用展開し、中小企業と共同研究を行ってきた「臭気処理能を向上させた VOC 処理触媒」の製品化につなげた。

(2) 先端材料製品の開発支援

- ・触媒反応に関する分析・特性解析技術の知見を用いて、中小企業による「耐酸性触媒」開発を支援した。
- ・ナノ粒子の粒径測定技術に関する知見を用いて、中小企業による「生体分子の粒径測定装置」開発を支援した。

(3) ライセンス制度による機器利用

先端的な機器分析装置のうち、操作に習熟が必要な以下の機器については、利用方法習得セミナー受講者に対してライセンスを発行し、機器利用に供している。

- ・分析機能付き走査電子顕微鏡
- ・X 線回折装置
- ・波長分散型蛍光 X 線分析装置

平成 28 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

先端材料開発セクター利用実績（件）

平成 28 年度利用実績	5,792
--------------	-------

3.6.3 複合素材開発セクター

高機能繊維材料や繊維強化材料による製品開発を支援するため、多摩テクノプラザに「複合素材開発サイト」を7月27日に開設した。これまで実施してきた繊維技術や化学技術による支援を発展させ、自動車、ロボット、ウェアラブルなどの分野で期待されている炭素繊維強化プラスチック（CFRP）やe-テキスタイルの成形、加工、評価が可能となった。

(1) 利用促進に向けた活動

1) 複合素材開発サイト開設式（参加者45名）

同時開催 複合素材開発サイト開設記念講演会・見学会開催（参加者70名）

講師：倪慶清氏（信州大学繊維学部教授）

「繊維素材の複合化 航空・自動車などへの応用展開」

2) 開設記念セミナー

開設記念セミナー	題目	所属	発表者名	開催日	参加人数
第1回 複合材料の活用	CFRP・CFRTPの成形・加工技術の現状と課題	東京工業高等専門学校機械工学科教授	木村南氏	9月21日	83名
	航空エンジンへの適用に向けたセラミックス繊維複合材料の研究開発	(国研)宇宙航空研究開発機構航空技術部門主任研究員	青木卓哉氏		
第2回 スマートテキスタイルの活用	e-テキスタイルについて	福井県工業技術センター主任研究員	増田敦士氏	11月10日	41名
	ウェアラブル製品と布製伸縮ヒーター	(株)三機コンシス専務取締役 CTO	松本正秀氏		
第3回 炭素繊維複合材料の活用	いしかわ炭素繊維クラスター 石川県の取り組み状況	(公財)石川県産業創出支援機構 統括コーディネーター	西原正浩氏	2月20日	89名
	熱可塑性CFRPのプレス成形	金沢大学理工研究領域機械工学系教授	米山猛氏		

3) 広報活動

① 事業紹介

東京TYフィナンシャルセミナー講演(8月23日)、(一社)繊維機械学会関東支部PRポスター展示(9月29日)、ふちゅうテクノフェア講演・展示(10月14～15日)、産業交流展展示(10月31日～11月2日)、八王子市セミナー講演(11月16日)、61st FRP CON-EX2016 講演・展示(11月24～25日)、車の軽量化展出展(1月18～20日)、強化プラスチック協会「合同研究会」開催[学協会連携事業](2月13日)

② 記事掲載

強化プラスチック誌：複合素材開発サイト紹介、開所式紹介(Vol.62, No.9, p.409-412, 2016)、繊維学会誌：広告掲載(Vol.73, No.1, 2017)、繊維学会誌：事業紹介(Vol.73, No.2, p.78-80, 2017)

(2) 相談事例

X線CT装置によるCFRP内の炭素繊維・ボイドの状況観察、高強度テキスタイルのロボット部材への応用、アルミ材料部品のCFRP化による軽量化、など。

平成28年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

複合素材開発セクター利用実績（件）

平成28年度利用実績	15,854
------------	--------

3.6.4 オーダーメイド開発支援

中小企業の製品開発における上流工程・上流設計支援を目的に、オーダーメイド開発支援事業を平成 21 年 6 月に開始した。主にデザイン、設計、加工、試作等の分野で、開発過程でのデータ収集、測定、性能評価等も対象とした。複雑で高度化する企業のニーズに対し、従来制度である依頼試験や受託研究での対応では、支援内容が制度にマッチしない事例が発生していたが、オーダーメイド開発支援事業の開始により、都産技研が保有する機器・設備と、職員の人的能力を最大限に活用して、中小企業の製品開発を有効に支援できるようにした。成果において特許、実用新案が発生する場合は、必要に応じて都産技研・利用者と協議し、契約を結ぶことも可能である。

平成 28 年度は、450 件、12,068,700 円のオーダーメイド開発支援を実施した。

3.6.5 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発を目指す中小企業を支援する施設として、平成18年度より「製品開発支援ラボ」を旧西が丘本部に3室設置し運営を開始した。中小企業の事業化支援の充実と強化を目的に、平成22年2月多摩テクノプラザ開設時に5室設置、平成23年10月本部開設時には新たに18室設置し、平成24年10月からは増室により19室とし、合計24室を製品開発支援のために提供している。

製品開発支援ラボは、①都産技研の技術支援を得ながら効率的に技術開発できる、②24時間利用できる、③ラボマネージャーが各種相談に応じ製品開発、事業化をサポートする、などの特長がある。また、本部には機械加工機器、電気試験機器などを整備した共用の試作加工室、ドラフトチャンバーや精密天秤などを整備した共用の化学実験室を設置し、迅速に製品開発できるよう支援の充実に努めている。

入居者はウェブサイトやメールニュースなどで公募し、入居者選定審査会において審査の上、選定している。平成29年3月31日現在、本部ラボ（19室）は17室が入居中であり、多摩ラボ（5室）は満室状態を維持している。

本部

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
301	アイリックス(株)	レーザーラマン分光装置の開発・製造	平成25年 6月 1日 ～平成29年 5月31日(予定)
302	ハードロック工業(株)	宇宙航空機産業参入に向けた新製品開発とボルト締結体基礎物性の把握	平成27年10月 1日 ～平成30年 9月30日(予定)
303	ティエムファクトリ(株)	「透明な断熱性を有するエアロゲル」の製品開発	平成27年11月16日 ～平成29年10月31日(予定)
304	(株)サイトライン・ソリューションズ	マイクロレイや次世代シーケンサーのデータ解析システムの開発	平成24年 9月 1日 ～平成29年 8月31日(予定)
305	エンネット(株)	リチウム二次電池等の劣化診断技術の開発	平成24年10月 1日 ～平成28年 8月31日
	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成28年 9月 1日 ～平成29年 3月31日
306	(株)CICS	加速器を用いたホウ素中性子捕捉治療システムの実用化	平成25年10月 1日 ～平成29年 9月30日(予定)
307	アイリックス(株)	レーザーラマン分光装置の開発・製造	平成27年12月 1日 ～平成28年 8月31日
	ACA(株)	肌測定用のソフトウェア、アプリケーションの開発	平成28年 9月 1日 ～平成31年 8月31日(予定)
308	(株)トリマティス	光通信技術と制御回路技術をもとにレーザー光源と電源の開発	平成28年 1月 1日 ～平成30年12月31日(予定)
309	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成27年12月 1日 ～平成28年 8月31日
	エンネット(株)	リチウム二次電池等の劣化診断技術の開発	平成28年 9月 1日 ～平成29年 9月30日(予定)
310	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成26年 4月 1日 ～平成28年 8月31日
311	(株)ジャパンユニックス	レーザーならびに超音波はんだ付けロボットの研究開発 はんだこて先具材の研究開発	平成23年10月 1日 ～平成28年 7月31日
312	(株)アロマビット	匂いセンサの開発	平成26年10月 6日 ～平成28年 7月31日
	seven dreamers laboratories(株)	全自動衣類折りたたみ機の開発	平成28年 9月 1日 ～平成31年 8月31日(予定)
313	(株)バイオマステクノロジー	バイオマス樹脂成型加工品の分析、評価、課題抽出および解析等多様な要求事項に対する課題解決	平成23年10月 1日 ～平成28年 9月30日

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
	(株)アルファ・プロダクト	コンクリート表面のクラック検出用画像処理装置、コンクリート内部の金属検出用超音波検査装置、ドラム缶内面のさび検出用超音波装置の開発	平成28年12月 1日 ～平成31年11月30日(予定)
314	(株)ティ・エフ・ディ	光波、電磁波を応用した臨床検査、計測機器の研究と開発	平成23年10月 1日 ～平成28年 9月30日
	デザミス(株)	農業・畜産分野における IoT 機器の開発	平成29年 1月24日 ～平成32年 1月23日(予定)
315	(株)名取製作所	2020 年パラリンピックに向けスポーツ用義足の開発	平成28年 6月 1日 ～平成31年 5月31日(予定)
316	日本電熱(株)	過熱蒸気発生機器関連の開発および爆砕処理とそれによる残渣の利用開発	平成26年10月 8日 ～平成29年 9月30日(予定)
317	大東潤滑(株)	グリースやエアゾール、エンジニアリング・プラスチック等の新製品の設計開発および性能等実験調査	平成23年10月 1日 ～平成28年 7月31日
	(株)アロマビット	匂いセンサの開発	平成28年 8月 1日 ～平成29年12月31日(予定)
318	(株)TBM	フィルター高充填シートの開発	平成26年11月 1日 ～平成29年10月31日(予定)
319	(株)CDM コンサルティング	水熱爆砕処理技術を利用したセシウム除去システムの開発等	平成24年 4月 1日 ～平成29年 3月31日

多摩テクノプラザ

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
ラボ 1	(株)EVTD 研究所	知見を有す電動両輪技術を踏まえ、家庭向け蓄電池事業の開発	平成27年 8月 1日 ～平成30年 7月31日(予定)
ラボ 2	ナノコート・ティーエス(株)	真空・プラズマ技術を用いた薄膜作成技術の開発	平成27年 9月15日 ～平成30年 8月31日(予定)
ラボ 3	Cambwick Healthcare(株)	抗酸化ストレス治療用の治療器の開発	平成27年 2月22日 ～平成29年11月30日(予定)
ラボ 4	(株)PARAM	電子ビーム描画装置等試作開発	平成24年11月 1日 ～平成29年10月31日(予定)
ラボ 5	(株)アспект	3D プリンターのアプリケーション開発	平成28年10月 1日 ～平成31年 9月30日(予定)

3.6.6 共同研究開発室

競争的資金導入研究や共同研究などのテーマで、中小企業と都産技研が共同で実施し迅速に成果を出せるよう、研究の実施場所として共同研究開発室を本部に3室提供している。共用を原則としている。ただし、共同研究開発室運営会議で審査し承認が得られた場合には、6ヶ月を限度に専用使用することができる。共同研究開発室の利用者は、研究の実施場所として試作加工室や化学実験室など製品開発支援ラボの共用利用施設も利用することができる。平成29年3月31日までの利用状況は、3室3テーマである。

室番号	共同研究実施者	テーマ	使用期間
391A	GEE(株) 光音技術 G	ハンディタイプの拡散反射透過材測定器の開発	平成28年 6月 1日 ～平成28年11月30日(共用)
391B	(株)タンケンシールセーコウ 表面・化学技術 G	回転機械用メカニカルシール製品への応用を目的とした生産用大型 CVD 装置による多結晶ダイヤモンド成膜技術の開発	平成28年 5月31日 ～平成29年 3月31日(共用)
393	アイリックス(株) 表面・化学技術 G	導電性ダイヤモンド電極の開発	平成28年 5月31日 ～平成29年 3月31日(共用)

3.7 品質評価支援（実証試験セクター）

「実証試験セクター」では、中小企業の安全で信頼性の高い製品を開発するために必要な、温湿度・劣化、振動・衝撃、電気・耐ノイズの試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援ができるよう環境試験機器を集約している。

平成 28 年度は、迅速かつ効率的な試験サービスの維持・拡充と、各種規格などに対応した質の高い試験業務の拡大を行った。

(1) 実証試験セクターのサービス拡充

実証試験セクターは、環境試験、電気・温度試験、製品・材料強度の各技術分野において製品の品質評価支援を行っている。

本部 2 階にある実証試験セクター窓口では、温湿度試験機などの機器利用予約情報、稼働状況、装置仕様を 60 インチディスプレイなどにより表示・提供している。装置と機器利用の概要をまとめたガイドについては、平成 26 年度分野ごとに作成したものをハンドブックとして 1 冊に統合し、その後新たに導入した試験機を反映させるとともに、わかりやすく使いやすいデザインに刷新した。ウェブサイトでは、温湿度試験機や EMC 試験機など、49 機種 of 機器利用予約情報、機器仕様などの提供、ならびに 29 機種 of オンライン予約を行っている。また、利用が多い静電気試験器、小型恒温恒湿槽、100 kN 精密万能試験機、マイクロビッカース硬さ試験機、高精度ブリッジ、直交流発生器を更新し、サービスの維持と充実を図った。

(2) 対応可能な規格試験の拡大とサービス向上

高性能な熱拡散率測定装置を導入し、機器利用ライセンス制度での運用を開始した。ASTM E 1461、JIS R 1611 に基づく測定において、従来機では対応できなかった厚さの試料が測定可能となり、精度の向上も実現した。

(3) 試験所認定および校正事業者登録による国際化支援

電気（直流抵抗器）および温度（熱電対）の JCSS 校正試験を行っており、電気については平成 28 年度技能試験を実施した。また、鉄鋼（金属材料引張試験）の JNLA 試験については、平成 28 年度認定 2 年以内の全項目検査が実施され、事業継続が認められた。

(4) 利用促進 PR 活動

実証試験セクターのパンフレットと刷新したハンドブックは、出展した展示会でお客さまに配布するとともに、1 階相談窓口および各担当分野室に配架し、認知度向上と利用者増、事業目標達成につながる PR 展開を行った。

平成 28 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

実証試験セクター利用実績（件）

平成 28 年度利用実績	68, 123
--------------	---------

3.8 技術経営支援

3.8.1 知的財産権の取得

(1) 知的財産権総括

1) 知的財産権保有件数

		特許(件)		実用新案(件)		意匠(件)	商標(件)	
		登録	出願中	登録	出願中	登録	登録	出願中
国内※1	今年度分	17	39	0	0	1	0	0
	累計	163	133	8	0	4	10	0
国外※2	今年度分	3	2				2	0
	累計	10	24				2	0
PCT※3	今年度分		2					
	累計		5					

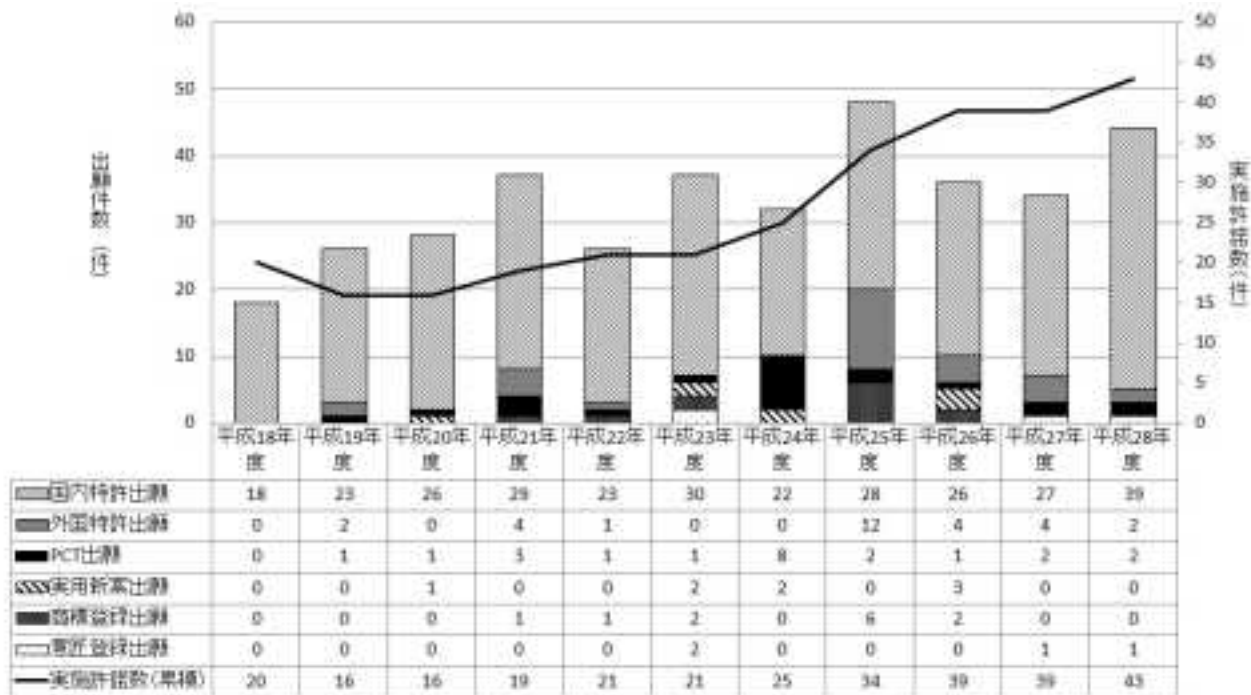
※1 国内優先権主張を利用したものは、原出願を件数から削除した。登録となった場合には、累計における「出願中」から削除した。「出願中」は、出願公開後に放棄等した件数を含む。

登録累計は、実績上権利終了案件を含む。

※2 自国（日本）指定も含めて計上した。

※3 PCT 出願後、各国への移行が完了したものについては、PCT の「出願中」から削除した。

2) 出願案件数の推移（平成 18 年度～平成 28 年度まで）



(2) 保有する登録済み知的財産権

1) 国内登録特許

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
1	第 3062813 号 (平 10-251835)	べっ甲基材の再生製造方法	H12. 5. 12 (H10. 8. 21)	横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊	従来廃棄していた製造工程中に発生するべっ甲端材を再生し、有効利用することができる製造方法に関する
2	第 3082911 号 (平 09-273212)	球状成型用凹凸金型盤による網目構造の球状繊維成型物及びその製造方法	H12. 6. 30 (H9. 9. 1)	樋口明久	種々の繊維に低融点繊維を均等に混合し、球状に加熱加圧して得られた繊維成型物に関する
3	第 3122870 号 (平 06-324046)	交流用 LED 点灯回路	H12. 10. 27 (H6. 11. 21)	上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利	電源電圧および周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用 LED 点灯回路
4	第 3261676 号 (平 11-357480)	電気ニッケルめっき浴。	H13. 12. 21 (H11. 12. 16)	土井 正 水元和成 茅島正資 田中慎一	めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくても良い、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴に関する
5	第 3292239 号 (平 10-084250)	鋳造用すず合金	H14. 3. 29 (H10. 3. 30)	佐藤健二 他 1 名	創造性、転写性に優れ鋳造した製品の色調が銀色に近いものが得られる鋳造用すず合金に関する
6	第 3326546 号 (平 07-321057)	コンピュータシステムの故障検知方法	H14. 7. 12 (H7. 11. 15)	坂巻佳壽美	コンピュータシステムの故障を自動的に検知し、システムの信頼性を向上させる方法に関する
7	第 3354377 号 (平 08-047151)	レーザー溶射法による高耐食性改質層の作製方法	H14. 9. 27 (H8. 3. 5)	一色洋二 藤木 栄	レーザー溶射法を利用した、鉄鋼材料表面の耐食性の改善
8	第 3406390 号 (平 06-180964)	重水素の濃縮方法及び装置	H15. 3. 7 (H6. 7. 8)	斎藤正明 他 3 名	原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置
9	第 3520505 号 (平 09-131548)	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物からの液体燃料回収方法	H16. 2. 13 (H9. 4. 16)	山本 真 中澤 敏	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分を生成しないで液体燃料を高収率で回収する方法
10	第 3559727 号 (平 11-198208)	放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法	H16. 5. 28 (H11. 7. 12)	斎藤正明	簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法
11	第 3590932 号 (2000-282652)	EMI ブローブ	H16. 9. 3 (H12. 8. 15)	大森 学 山田万寿雄	電子機器から放射されるノイズ(放射電磁界)を3つの検出面を同軸上に互いに60度の角度で配置したEMIブローブを用いて三次元方向の感度特性で検出するため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索できる
12	第 3612659 号 (平 09-131549)	フミン酸の改質による吸水性材料の製造方法	H16. 11. 5 (H9. 4. 16)	山本 真 中澤 敏 他 2 名	草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、アクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させることを特徴とする吸水性材料の製造方法
13	第 3624394 号 (平 10-347644)	電解用活性陰極の製造方法	H16. 12. 10 (H10. 12. 7)	田中慎一 棚木敏幸 広瀬徳豊	水溶液の電気分解による生産過程での電力使用量の低減を可能とした電極の製法
14	第 3719847 号 (平 10-131320)	摺動性材料及びその製造方法	H17. 9. 16 (H10. 4. 24)	三尾 淳 仁平宣弘	チタン表面層にイオン注入法で塩素を添加することにより、潤滑材を使用しなくても低摩擦かつ耐摩耗性に優れた新しい硬質材料およびその製造方法
15	第 3748304 号 (平 08-327402)	重水素の濃縮度算出決定装置	H17. 12. 9 (H8. 12. 9)	斎藤正明	天然水中のトリチウムの分析に不可欠な濃縮法で、従来の方法と比較して測定作業を簡易化したうえ、正確な重水素濃縮度を算出する方法および装置
16	第 3779290 号 (2003-322418)	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	H18. 3. 10 (H15. 9. 16)	木下稔夫 上野博志 瓦田研介 他 1 名	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
17	第 3812783 号 (平 10-066426)	超音波振動付加型摩擦試験機	H18. 6. 9 (H10. 3. 17)	片岡征二 加藤光吉 基 昭夫 中田高志 佐々木武三 他 1 名	一般的な汎用試験機に超音波振動装置を組み込み、摩擦低減に対する超音波振動付加の効果を簡便に試験できる摩擦試験機
18	第 3963859 号 (2003-116330)	電動自転車用電源供給装置	H19. 5. 22 (H15. 3. 18)	三上和正 小林丈士	電動自転車の始動時にバッテリーからモーターに流れる大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源である「電気二重層コンデンサ」から供給することによりバッテリーの長寿命化を図る
19	第 3968413 号 (2001-024203)	工作物に穴を形成する放電加工方法	H19. 4. 11 (H13. 1. 31)	山崎 実 森 紀年 武井健三郎 国枝正典	直径数十ミクロンという微細な穴あけに関する技術で、穿孔する穴径より太い電極を用い、電極を＋、加工物を－にし、電極を回転させながら送りつつ放電加工を行うと、電極の外周部が消耗しながら微細な穴が形成できる
20	第 3970021 号 (2001-392816)	デジタル回路実験・実習遠隔教育方法	H19. 6. 15 (H13. 11. 20)	森 久直 坂巻佳壽美 他 4 名	デジタル回路に関する実験・実習を回路を通じて行えるようにした遠隔教育システム
21	第 3993784 号 (2002-106827)	多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの用具	H19. 7. 24 (H14. 4. 9)	澤近洋史 樋田靖広 浜島義明 他 1 名	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ
22	第 3992536 号 (2002-138469)	ラドン等の放射性核種の濃度測定方法とこの方法に用いる装置	H19. 7. 24 (H14. 5. 14)	斎藤正明	遮光したチャンバー内にプラスチックシンチレータおよび光電子増倍管を対面配置し、チャンバー内に連続的に流入させた試料水または試料空気に含まれるラドンをシンチレータに吸収させるラドンの放射線エネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光し、その回数を増倍管で計数する
23	第 4046450 号 (平 11-325903)	表面プラズモン共鳴センサ	H19. 11. 30 (H11. 10. 12)	上野武司 加澤エリト 佐々木智憲 他 1 名	光の波長または光の入射角度を変化させることにより生じる表面プラズモン共鳴現象を利用し、物質の濃度あるいは物質の識別に用いられる、コンパクトで良好な感度を有するセンサ
24	第 4086241 号 (2004-035337)	水素吸蔵合金粉末	H20. 2. 29 (H16. 2. 12)	内田 聡 他 3 名	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
25	第 4125671 号 (2003-436038)	ノイズ測定用多素子アンテナ	H20. 5. 16 (H15. 11. 28)	寺井幸雄 天早隆志 清水康弘	屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための片手で持ち運びできる小型アンテナに関するもの
26	第 4126576 号 (平 10-245288)	鋳造用アルミニウム合金	H20. 5. 23 (H10. 8. 31)	佐藤健二 他 2 名	材料欠陥が少なく品質・強度が向上し、かつ塑性加工しても製品の割れが発生しにくくなり加工工数の低減化と製品歩留まりが向上する
27	第 4222515 号 (2004-314637)	ダイヤモンドの研磨方法と装置	H20. 11. 28 (H16. 10. 28)	横澤 毅 基 昭夫 片岡征二 仁平宣弘	超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンドを研磨する方法
28	第 4226875 号 (2002-312841)	放電加工による素材の成形方法	H20. 12. 5 (H14. 10. 28)	山崎 実 鈴木岳美 森 紀年 国枝正典	放電加工により一度開けた穴を利用して、直径数 μm の細い電極や断面形状の複雑な電極を容易に作ることができる
29	第 4233222 号 (2001-008685)	着色ガラスの製造方法	H20. 12. 19 (H13. 1. 17)	鈴木 蕃 大久保一宏 小山秀美 田中 実 陸井史子	一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で 2~50%の三宅島火山灰を配合することにより、清澄剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、着色剤を使用することなく美しい青色に発色する高品質の着色ガラスが製造できる
30	第 4359537 号 (2004-177562)	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	H21. 8. 14 (H16. 6. 15)	樋口明久 吉野 学	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良に関するもの
31	第 4392719 号 (2004-036734)	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	H21. 10. 23 (H16. 2. 13)	片岡征二 基 昭夫 玉置賢次 他 3 名	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
32	第 4394050 号 (2005-254626)	低摩擦性、耐磨耗性を向上させた金属板の製造方法	H21. 10. 23 (H17. 9. 2)	藤木 栄 他 1 名	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐磨耗性を一層向上させた金属板に関する
33	第 4568142 号 (2005-048669)	放電加工による素材の成形方法	H22. 8. 13 (H17. 2. 24)	山崎 実 鈴木岳美 國枝正典	放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法に関する
34	第 4573174 号 (2005-226475)	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	H22. 8. 27 (H17. 8. 4)	小山秀美 小林政行 他 1 名	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術
35	第 4599529 号 (2005-234849)	放射線照射判別方法および放射線照射判別システム	H22. 8. 11 (H17. 8. 12)	後藤典子 山崎正夫 他 3 名	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法に関するもの
36	第 4680612 号 (2005-016154)	カーボンオニオンの製造方法	H23. 2. 10 (H17. 1. 24)	基 昭夫 片岡征二 後藤賢一 玉置賢次 他 8 名	容易な技術で、従来の方法に比べて簡便かつ安易にカーボンオニオンを製造することができる実用的な方法を提供すること
37	第 4740439 号 (2000-008551)	塗装用ブラシ	H23. 5. 13 (H12. 1. 18)	木下稔夫 他 2 名	ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘度塗料の塗布を可能にしたブラシ
38	第 4764973 号 (2005-356870)	CRC 値の算出装置	H23. 6. 24 (H17. 12. 9)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現した
39	第 4776212 号 (2004-340549)	マルチ X 線の発生方法及びその装置	H23. 7. 8 (H16. 11. 25)	鈴木隆司	1 種類以上の金属元素から成るフィルターを用いて、X 線発生装置から出る連続 X 線を単色 X 線または 2 本以上のマルチ X 線にする方法および装置に関するもの
40	第 4791746 号 (2005-094574)	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H23. 7. 29 (H17. 3. 29)	田中 実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ほうけい酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
41	第 4827657 号 (2006-222746)	排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析方法と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理装置と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫黄酸化物の分析用前処理キット	H23. 9. 22 (H18. 8. 17)	野々村 誠 栗田恵子	排ガス中のハロゲン化合物と硫黄酸化物を分析するための前処理装置と前処理キットを提供することにより、排ガス中のこれらの成分を簡便、迅速、安価に測定することができる
42	第 4828159 号 (2005-153290)	赤外線追尾装置	H23. 9. 22 (H17. 5. 26)	大畑敏美	パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知し、信号発生方向に自動追尾する装置
43	第 4832785 号 (2005-114097)	表面改質された超高分子量ポリエチレン製成形品、およびその製造方法	H23. 9. 30 (H17. 5. 26)	谷口昌平	人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチレンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐磨耗性の向上を目的としている
44	第 4847931 号 (2007-211714)	揮発性有機物除去装置及び揮発性有機物検出方法	H23. 10. 21 (H19. 8. 15)	紋川 亮 石東真典 加澤エリト	ポリマーが VOC を吸収することで溶解し、その物性値が変化することを利用した VOC センサー等を組み込んだ揮発性有機物の除去装置およびその検出方法
45	第 4851432 号 (2007-320334)	揮発性有機物回収処理装置及びこれを有する揮発性有機物回収処理システム	H23. 10. 28 (H19. 12. 12)	紋川 亮	多孔質吸着剤が持つ VOC 吸着処理能力の高さと、揮発性有機物吸収材の持つ高い VOC 吸収能力を複合するという技術を用いた有用な揮発性有機物回収処理装置
46	第 4873617 号 (2006-093164)	低摩擦特性と耐剥離性を有する硬質膜の被覆部材	H23. 12. 2 (H18. 3. 30)	基 昭夫 後藤賢一 他 3 名	研磨した第一硬質膜の表面に DLC 膜をコーティングして第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜被覆工具および摺動材の製造方法
47	第 4920007 号 (2008-129932)	ガラス発泡体の製造方法、ガラス発泡体及びガラス発泡体の再生方法	H24. 2. 10 (H20. 5. 16)	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収し、リン酸肥料として再資源化するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつリン酸の再解離が容易なガラス発泡体の製造方法に関するものである

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
48	第 4936349 号 (2005-161094)	金属内包カーボンナノカプセルの製造方法	H24. 3. 2 (H17. 6. 1)	基 昭夫 片岡征二 他 2 名	量産性に優れた金属内包カーボンカプセルの製造方法
49	第 4940464 号 (2005-271060)	ネットワーク機器試験装置	H24. 3. 9 (H17. 9. 16)	坂巻佳壽美 乾 剛 他 4 名	通信メディアチップを直接 FPGA の回路により制御することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数をパケットの一部検出に用いることで高速なフィルタリング試験を実現する
50	第 5019445 号 (2007-230736)	低摩擦摺動部材および低摩擦転動部材	H24. 6. 22 (H19. 9. 5)	基 昭夫 他 4 名	大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および転動部材を提供する
51	第 5022207 号 (2007-326851)	多層編地および多層編地の編成方法	H24. 6. 22 (H19. 12. 19)	飯田健一	5 層編地や 7 層編地など、3 層より多くの層を有する多層編地を提供する
52	第 5025209 号 (2006-262181)	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 6. 29 (H18. 9. 27)	田中 実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
53	第 5055617 号 (2007-139787)	分注装置	H24. 8. 10 (H19. 5. 25)	楊 振 他 3 名	従来に分注装置の高さを低くし、小型の分注装置とする
54	第 5078002 号 (2007-124308)	ダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法	H24. 9. 7 (H19. 5. 9)	玉置賢次 片岡征二 他 2 名	鉄合金上に密着性良くダイヤモンド膜が被覆されたダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法を提供する
55	第 5083768 号 (2008-008191)	バイオセンサシステム	H24. 9. 14 (H20. 1. 17)	沢井正之 他 2 名	溶存酸素の影響を受けずに、NAD ⁺ または NADP ⁺ を補酵素とする脱水素酵素の基質を正確に定量することができ、安価に製造することができ、かつ携帯性に優れた、バイオセンサシステムを提供すること
56	第 5105957 号 (2007-146932)	自動車燃料中の植物由来エタノール混合量の測定法	H24. 10. 12 (H19. 6. 1)	斎藤正明	植物由来のエタノールを含む炭化水素系自動車燃料中のバイオエタノールの正確で簡便な測定法を提供する
57	第 5107261 号 (2008-548357)	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	H24. 10. 12 (H19. 12. 7)	加澤エリト 他 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する
58	第 5107571 号 (2006-354819)	LED 制御方法	H24. 10. 12 (H18. 12. 28)	宮島良一 小林丈士 五十嵐美穂子	多数の多色 LED を均一に同時点灯可能な LED 制御回路を提供する
59	第 5116245 号 (2006-083377)	自動分析装置に用いる検量線作成用化合物	H24. 10. 26 (H18. 3. 24)	上野博志 山本 真 石田直洋 金子真理奈 他 1 名	硫黄および主要なハロゲン (F、Cl、Br、I) について同時に検量線を作成することのできる新規な検量線作成用化合物を提供する
60	第 5135022 号 (2008-081958)	揮発性有機物分解菌用担持体及び汚染土壌の浄化方法	H24. 11. 16 (H20. 3. 26)	紋川 亮	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することを可能とする揮発性有機物分解菌用担持体、および、該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法を提供することである
61	第 5135341 号 (2009-520544)	燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	H24. 11. 16 (H20. 6. 20)	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により高精度に形成する。ベースプレート上に反応ガスの流通経路となる所定のパターンの隔壁を印刷によって形成する燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、導電性材料を含むインク組成物をスクリーン印刷によって順次上方に複数回刷り重ねることにより隔壁となる所定の厚さの導電性インキ層を形成することを特徴とする
62	第 5137768 号 (2008-253593)	断面形態制御繊維およびその製造方法	H24. 11. 22 (H20. 9. 30)	山本清志	減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊維等の断面形態を制御されたポリエチレンテレフタレート繊維およびその製造方法を提供する
63	第 5140519 号 (2008-212839)	はんだの組成分析方法	H24. 11. 22 (H20. 8. 21)	林 英男 上本道久	鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元素と不純物元素とを同時に分析する方法を提供する
64	第 5147633 号 (2008-263687)	フッ素アパタイトの製造方法	H24. 12. 7 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	高い活性の可視光応答型光触媒が得られるように、ヒドロキシアパタイト粉体からフッ素アパタイトを製造する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
65	第 5175584 号 (2008-064141)	局所表面プラズモン 共鳴イメージング装 置	H25. 1. 11 (H20. 3. 13)	紋川 亮	金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズモン共鳴 (LSPR) を利用して、DNA およびタンパク質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などのタンパク質標識を行うことなく検出する LSPR イメージング装置を提供する
66	第 5177472 号 (2006-274408)	カット面を着色した ダイヤモンド粒子の 製造方法、およびカッ ト面に文様を描画し たダイヤモンド粒子 の製造方法	H25. 1. 18 (H18. 10. 5)	谷口昌平 他 1 名	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としないカラーダイヤモンド製造方法を提供する
67	第 5183301 号 (2008-139659)	成型型およびその製 造方法	H25. 1. 25 (H20. 5. 28)	寺西義一 他 3 名	ガラス状炭素部材を用いて、離型性が高く、しかも凹凸部のアスペクト比が大きい場合に適した成型型およびその製造方法を提供する
68	第 5183328 号 (2008-174673)	編成体及びその製造 方法	H25. 1. 25 (H20. 7. 3)	樋口明久	無機繊維と収縮繊維との交差糸から編成されたものを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体
69	第 5203603 号 (2006-355457)	親水性熱可塑性共重 合体	H25. 3. 5 (H18. 12. 28)	清水研一 篠田 勉 上野博志	芳香族ビニルジエン共重合体の二重結合部分のみにカルボキシル基を付加して、親水性の高分子材料を得る方法に関する
70	第 5207669 号 (2007-165339)	再生繊維製造方法	H25. 3. 1 (H19. 6. 22)	樋口明久 他 2 名	塩ビ系壁紙を粉砕処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およびその製造方法
71	第 5214290 号 (2008-071504)	食品用 X 線異物検査 装置およびその方法	H25. 3. 8 (H20. 3. 19)	大平倫宏 周 洪鈞 他 2 名	ベルトコンベア上を流れる食品パックに X 線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法を開発した
72	第 5231294 号 (2009-055710)	揮発性有機化合物吸 着材とその製造方法	H25. 3. 29 (H21. 3. 9)	瓦田研介 井上 潤	廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出されるリグニン残渣を VOC 吸着材に転換する技術に関するものである
73	第 5242289 号 (2008-207817)	揮発性有機物吸収材 及びその製造方法	H25. 4. 12 (H20. 8. 12)	紋川 亮 田村和男	取り扱いが簡便で、VOC の吸収能が高く、さらに活性炭やメソポーラスシリカ等といった従来の VOC 吸着材よりも VOC の吸収能が極めて高い吸収材であるため、吸収材の交換や再生を頻繁に行う必要のない揮発性有機物吸収材およびその製造方法に関する
74	第 5243222 号 (2008-322621)	粉体分離装置、粉体分 離システム、及び粉体 分離方法	H25. 4. 12 (H20. 12. 18)	樋口明久 他 8 名	異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離装置、粉体分離方法、および、これを用いた粉体分離システムに関する
75	第 5261690 号 (2008-131617)	高強度ダイヤモンド 膜工具	H25. 5. 10 (H20. 5. 20)	横澤 毅 玉置賢次 寺西義一 片岡征二 他 2 名	気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰囲気中にボロンを含むガスを積極的に導入することでボロンドープダイヤモンド膜を有する高強度ダイヤモンド膜工具に関する
76	第 5268050 号 (2008-010369)	カーボンナノチュー ブ含有樹脂組成物、硬 化物、成形体及びカー ボンナノチューブ含 有樹脂組成物の製造 方法	H25. 5. 17 (H20. 1. 21)	柳 捷凡 他 2 名	機械強度 (曲げ強度、曲げ弾性率) や導電性 (特に均一性) に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体およびカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法に関する
77	第 5281926 号 (2009-046676)	揮発性有機化合物吸 着剤とその製造方法、 並びに樹皮又はその 成型体の利用方法	H25. 5. 31 (H21. 2. 27)	瓦田研介 井上 潤	樹皮またはその成型体を有効利用できる、揮発性有機化合物吸着剤とその製造方法、ならびに樹皮またはその成型体の利用方法に関する
78	第 5301140 号 (2007-286805)	ガラス状炭素材から なる微細成型材料 とその製造方法なら びにそれを用いた微 細成型	H25. 6. 28 (H19. 11. 2)	寺西義一 他 1 名	凹凸部の寸法を数 nm~数百 μm 程度とする微細な成形が行われた微細成型の材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型に関する
79	第 5302860 号 (2009-266467)	家畜骨残渣の処理方 法	H25. 6. 28 (H21. 11. 24)	柳 捷凡	食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
80	第 5308608 号 (2001-024519)	締結体締め付け力安定化剤、これを用いた締結力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	H25. 7. 5 (H13. 1. 31)	大久保一宏 石田直洋 他 2 名	締結体の締め付け力を安定化することができる安定化剤、およびこれを用いた締結体の締め付け力安定化方法、さらに、同安定化剤をあらかじめ付着させてなる締結体を構成する部品に関する
81	第 5309354 号 (2006-052500)	高速パターンマッチング装置の探索方法	H25. 7. 12 (H18. 2. 28)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法に関する
82	第 5350866 号 (2009-096262)	皮革または革製品	H25. 8. 30 (H21. 4. 10)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖 中村 宏	皮革および革製品の表面に付着した主に環境由来のかび胞子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品に関する
83	第 5367341 号 (2008-283986)	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	H25. 9. 20 (H20. 11. 5)	渡部友太郎	Al-Si(Al-Si-Mg)系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法に関する
84	第 5376669 号 (2010-070763)	金属部材のプレス加工方法およびプレス加工用金型	H25. 10. 4 (H22. 3. 25)	小金井誠司 他 6 名	ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、プレス加工が繰り返し行えるように金型の耐久性を高めるとともに、チタン部材やマグネシウム合金部材といった難加工金属部材について、ドライ加工を行えるようにすることができるプレス加工方法等に関する
85	第 5378024 号 (2009-075049)	揮発性有機物吸収材	H25. 10. 4 (H21. 3. 25)	紋川 亮 藤井恭子	揮発性有機物の吸収能(吸収量および吸収速度)が高く、また、熱処理により脱着が簡単にできるため、吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材に関する
86	第 5382638 号 (2008-014005)	マグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型	H25. 10. 11 (H20. 1. 24)	基 昭夫 他 4 名	絞り、曲げ成形等のプレス加工によるマグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型に関する
87	第 5388304 号 (2010-074034)	掲示板のための照明装置	H25. 10. 18 (H22. 3. 29)	中村広隆 榊本博司 三上和正 長谷川孝 西澤裕輔 他 3 名	掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報(掲示情報)についての視認性の改善に寄与する照明装置に関する
88	第 5394132 号 (2009-134259)	揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法	H25. 10. 25 (H21. 6. 3)	紋川 亮 他 1 名	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法に関する
89	第 5399034 号 (2008-246074)	微細成型型および微細成型用基材並びに微細成型型の製造方法	H25. 11. 1 (H20. 9. 25)	寺西義一 三尾 淳 石東昌典	コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成型型および微細成型用基材ならびに微細成型型の製造方法に関する
90	第 5404465 号 (2010-031649)	ポリアニリン半導体材料	H25. 11. 8 (H22. 2. 16)	中川清子 谷口昌平 山崎正夫	化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアニリン半導体材料に関する
91	第 5413939 号 (2007-198213)	タンパク質自動合成精製方法及び装置	H25. 11. 22 (H19. 7. 30)	楊 振 佐々木智憲	ディスク内に微細流路および反応室等を形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成生成装置に関する
92	第 5414719 号 (2011-052181)	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	H25. 11. 22 (H23. 3. 9)	染川正一 他 1 名	強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒等に関する
93	第 5422320 号 (2009-218022)	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	H25. 11. 29 (H21. 9. 18)	染川正一 石川麻子 他 1 名	VOC 分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度で VOC を分解することができる触媒等に関する
94	第 5425689 号 (2010-081190)	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	H25. 12. 6 (H22. 3. 31)	神田浩一 坂巻佳壽美 大原 衛 金田泰昌 加藤光吉 他 4 名	複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘引効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法等に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
95	第 5435911 号 (2008-218293)	除放射性製剤とその製造方法	H25. 12. 20 (H20. 8. 27)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖	短期間で気化しやすい常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い徐放性製剤とその製造方法に関する
96	第 5438287 号 (2008-143107)	難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤	H25. 12. 20 (H20. 5. 30)	柳 捷凡 他 3 名	難溶性アミノ酸類微細粒子およびその製造方法に関わり、さらに皮膚外用剤に関する
97	第 5439155 号 (2009-286011)	歯間清掃具及びその製造方法	H25. 12. 20 (H21. 12. 17)	許 深 樋口明久	歯の表面に付着している歯垢等の汚れを除去するための歯間清掃具およびその製造方法に関する
98	第 5441485 号 (2009-106510)	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	H25. 12. 27 (H21. 4. 24)	紋川 亮	VOC の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置および VOC 処理方法に関する
99	第 5448549 号 (2009-106520)	光イオン化検出器及び光イオン化検出方法	H26. 1. 10 (H21. 4. 24)	平野康之 加澤エリト 吉田裕道 原本欽郎	金属電極に交流電圧または交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でも VOC 濃度の測定が可能な光イオン化検出器等に関する
100	第 5460113 号 (2009-105359)	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	H26. 1. 24 (H21. 4. 23)	紋川 亮 加澤エリト	VOC 等の検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能な、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
101	第 5479826 号 (2009-204833)	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化装置	H26. 2. 21 (H21. 9. 24)	三尾 淳 他 2 名	低コストかつ短時間でガスの分解および処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置およびガス浄化方法、ならびにこれに使用するプラズマ電極に関する
102	第 5486790 号 (2008-263686)	多孔質アパタイトおよびその製造方法	H26. 2. 28 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	天然骨等の廃棄物を原料とした、大きな比表面積のアパタイト微粒子を有する多孔質アパタイトであり、吸着剤として用いることが可能
103	第 5511523 号 (2010-129014)	二脚型移動装置	H26. 4. 4 (H22. 6. 4)	坂下和広	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに跨ぎ越すことのできる二脚型移動装置に関する
104	第 5548144 号 (2011-016517)	表示装置	H26. 5. 23 (H23. 1. 28)	豊島克久	液晶ディスプレイに比べ目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができるという優れた効果を有する表示装置
105	第 5560065 号 (2010-047994)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、脇下近辺に開閉部があるため、脱衣しやすく、製造が容易で十分な防護性を確保できる
106	第 5560066 号 (2010-047997)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、前面に開閉部があるため脱衣しやすく、迅速に脱衣が可能
107	第 5564680 号 (2009-170391)	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	H26. 6. 27 (H21. 7. 21)	中澤亮二 小山秀美	排水中のりん酸を回収するのに適した高いりん酸吸着能を有し、かつ排水処理に使用後のガラス発泡体の植物栽培への利用を容易にするため、植物に利用可能な水を保持できるガラス発泡体
108	第 5572459 号 (2010-152637)	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	H26. 7. 4 (H22. 7. 5)	上野博志 菊池有加 峯 英一	試料中の微量な 4 種類のハロゲン（フッ素、塩素、臭素、よう素）および硫黄の有機元素を、迅速に高精度で自動定量分析する際の検量線を作成する、4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法に関する
109	第 5579644 号 (2011-059966)	赤色ガラス	H26. 7. 18 (H23. 3. 18)	大久保一宏 増田優子 上部隆男	有害元素であるカドミウムを着色剤として使用せずに、カドミウム含有の赤色ガラスと同じ赤い色を示すソーダ石灰の赤色ガラスに関する
110	第 5604094 号 (2009-286822)	防かび剤組成物、およびそれを利用した木材および木製品	H26. 8. 29 (H21. 12. 17)	小沼ルミ 宮崎 巖 飯田孝彦 濱野智子 瓦田研介 他 1 名	木材および木製品にも適した防かび剤組成物、およびそれを使用した防かび加工方法、木材および木製品等に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
111	第 5632597 号 (2009-200679)	弦楽器、弦楽器の製造 方法及び弦楽器製造 装置	H26.10.17 (H21. 8.31)	横山 幸雄	積層造形法を活用した、弦楽器、弦楽器の製造 方法および弦楽器製造装置に関する
112	第 5647669 号 (2012-503249)	多孔質シリカの製造 方法	H26.11.14 (H23. 3. 3)	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、 ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下 のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で 得ることができる多孔質シリカの製造方法に関 する
113	第 5647836 号 (2010-198628)	導電紙及びその製造 方法	H26.11.14 (H22. 9. 6)	上野武司 竹村昌太 島田勝廣	無電解金属めっきにより金属で被覆された木材 パルプを含む導電紙およびその製造方法に関す る
114	第 5650916 号 (2010-047999)	防護服	H26.11.21 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成 されたツナギ型の防護服であり、一端の袖部か ら頭部近辺を跨ぎ、他端の袖部にかけて開閉部 があるため、防護服の脱衣が容易で、短時間で 迅速に脱衣できる
115	第 5660831 号 (2010-219707)	アルミニウム合金の 材質判定方法	H26.12.12 (H22. 9.29)	竹澤 勉 上本道久 伊藤 清	アルミニウム合金のリサイクルにおいてアルミ ニウム合金のグループ分けを行う場合に適用し て好適なアルミニウム合金の材質判定方法に関 する
116	第 5660918 号 (2011-026993)	情報処理装置、コンピ ュータプログラム、お よび情報処理方法	H26.12.12 (H23. 2.10)	大平倫宏	三次元図形を構成する複数の頂点に対応する複 数の頂点データを有する三次元図形データに対 する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにお いて、データの改ざんが検出されやすくなるよ うにする情報処理装置、コンピュータプログラ ム、および情報処理方法に関する
117	第 5667431 号 (2010-287832)	三次元座標測定機簡 易検査用ゲージ	H26.12.19 (H22.12.24)	中西正一 西村信司 中村弘史	三次元座標測定機の寸法検査を短時間に簡便に 行うことができ、マルチスタイラスの検査も実 施可能な三次元座標測定機簡易検査用ゲージに 関する
118	第 5690244 号 (2011-179367)	はんだの組成分析方 法	H27. 2. 6 (H23. 8.19)	林 英男	鉛フリーはんだに含まれる各種元素を分析する 方法に関する
119	第 5697309 号 (2009-053490)	局在プラズモン共鳴 センサの製造方法	H27. 2.20 (H21. 3. 6)	加澤エリト 紋川 亮	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学セ ンサの性能向上に関し、センサ性能低下の要 因となっていた導電・密着層を熱処理により誘 電体化することを特徴とする
120	第 5697852 号 (2009-073154)	揮発性有機物回収シ ステム	H27. 2.20 (H21. 3.25)	紋川 亮	VOC を効率的に液化して回収することができる 揮発性有機物回収システムに関する
121	第 5698034 号 (2011-045449)	加熱補助器具及び加 熱装置並びに化学的 酸素消費量の測定方 法及び加熱方法	H27. 2.20 (H23. 3. 2)	荒川 豊	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速 に加熱することができるとともに、試料間の加 熱むらを小さくすることができる加熱補助器 具、加熱装置および加熱方法、ならびに、複数 の試料水について簡易かつ迅速に加熱すること ができるとともに、試料間の測定精度のばらつ きを小さくすることができる化学的酸素消費量 の測定方法に関する
122	第 5706069 号 (2009-024032)	ダイヤモンド研磨装 置及びダイヤモンド 研磨方法	H27. 3. 6 (H21. 2. 4)	横澤 毅 片岡征二 他 1 名	被研磨物にコーティングされたダイヤモンドを 研磨する装置および方法に関する
123	第 5711927 号 (2010-222197)	固体酸化物型燃料電 池	H27. 3.13 (H22. 9. 3)	樋口明久 他 7 名	MEA セルとセパレータの間に集電材が設けられ る平板型の固体酸化物型燃料電池、および MEA セルの空気極と燃料極の内周面または外周面に 集電材が設けられる円筒型の固体酸化物型燃料 電池に関する
124	第 5717491 号 (2011-065307)	揮発性有機化合物用の 担体触媒及びその 製造方法	H27. 3.27 (H23. 3.24)	染川正一 小島正行 藤井恭子 萩原利哉 堂免一成	VOC 用の触媒層を担体に担持するにあたって、 触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき 、かつ触媒層が担体から剥離しにくいので、 触媒性能のアップを図ることができるとともに 触媒燃焼法の装置設計がしやすくなる
125	第 5722736 号 (2011-202620)	流路形成用ガラス組 成物、その組成物で形 成される微細流路を 備える石英ガラスマ イクロリアクター及 びその流路形成方法	H27. 4. 3 (H23. 9.16)	田中 実 伊東洋一 上部隆男 他 3 名	一对の石英ガラス基板の両板の対向面に、スク リーン印刷法でガラスペーストを印刷して焼成 により該両板間に微細流路を形成する流路形成 用ガラス組成物、その組成物で形成される微細 流路を備える石英ガラスマイクロリアクター、 およびその石英ガラスマイクロリアクターの流 路形成方法に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
126	第 5734589 号 (2010-162015)	水道用ゴムパッキン	H27. 4. 24 (H22. 7. 16)	清水研一 飛澤泰樹 他 2 名	バルブ、フランジ、その他各種の継手に使用する水密性に優れた水道用ゴムパッキンに関する
127	第 5739125 号 (2010-2011507)	人工骨部材	H27. 5. 1 (H22. 9. 9)	寺西義一 他 1 名	自家骨との接合強度を高くして自家骨との強固な接合を発現維持させて、しかも汎用性の高い人工骨部材に関する
128	第 5753568 号 (2013-240142)	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	H27. 5. 29 (H25. 11. 20)	加澤エリト 紋川 亮	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサの製造方法であって、誘電体基板と金属微細構造の間に設けた導電層または密着層を誘電体化する、局在プラズモン共鳴センサ製造方法に関する
129	第 5762151 号 (2011-126795)	数値データの圧縮システム及び方法	H27. 6. 19 (H23. 6. 6)	大原 衛 山口隆志	主にコンピュータによる科学技術計算や表計算のソフトウェアで一般的に採用されている浮動小数点形式の数値データの処理に関し、連続して入力される数値入力データを効率的に圧縮および伸長するためのシステム、方法およびその装置に関する
130	第 5767076 号 (2011-227936)	熱型加速度センサー	H27. 6. 26 (H23. 10. 17)	豊島克久	加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサーに関する
131	第 5775326 号 (2011-041203)	LED 点灯回路	H27. 7. 10 (H23. 2. 28)	小林丈士 染谷克明 寺井幸雄	照明器具、照明装置関連技術分野における省エネルギー型で、比較的大きな動作電流を持つ LED (発光ダイオード) の点灯回路に関する
132	第 5779038 号 (2011-175078)	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	H27. 7. 17 (H23. 8. 10)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	被測定対象に含まれる VOC を検出する VOC 検出器および VOC 検出方法、特に、VOC をイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれる VOC の種別を特定することが可能な VOC 検出器および VOC 検出方法に関する
133	第 5780640 号 (2011-146285)	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	H27. 7. 24 (H23. 6. 30)	峯 英一 菊池有加 小野澤明良 上野博志 他 1 名	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキットに関する
134	第 5803003 号 (2011-150689)	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	H27. 9. 11 (H23. 7. 7)	長坂浩志	基材の表面にダイヤモンド薄膜などの薄膜を形成するための熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いて薄膜を形成するための成膜方法に関する
135	第 5812828 号 (2011-262112)	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム	H27. 10. 2 (H23. 11. 30)	小野澤明良 木下稔夫 他 1 名	錆面 (付着物が付着した管内壁) への研削材の衝突エネルギーを高め、錆除去のプラスト力とその効率をさらに向上させるとともに、円錐形部材の円錐面の摩耗を少なくすることができる。したがって、偏向部材を長時間使用可能であること、研掃効率が良いため同じ範囲をより短い時間で研掃できることから、大変経済性の高い偏向手段に関する
136	第 5818619 号 (2011-220890)	スラリー状触媒液の付着装置	H27. 10. 9 (H23. 10. 5)	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉	有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術に関する
137	第 5827735 号 (2014-198975)	多孔質シリカの製造方法	H27. 10. 23 (H26. 9. 29)	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法に関する
138	第 5840054 号 (2012-74775)	複合材料、培養容器及び細胞培養器用仕切り部材	H27. 11. 20 (H24. 3. 28)	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコーラゲンゲル膜およびこれを用いた培養容器に関する
139	第 5861177 号 (2011-228859)	有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置	H28. 1. 8 (H23. 10. 18)	杉森博和 他 3 名	活性炭やゼオライト等の吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置に関する
140	第 5861231 号 (2011-138440)	絹繊維品のプリーツ加工方法及び絹繊維品のプリーツ加工品	H28. 1. 8 (H23. 6. 22)	武田浩司 木村千明 小林研吾	絹繊維品のプリーツ加工に非常に有効であり、絹繊維品本来の特性を損なうことなく、プリーツの保持性にも優れるという効果を有する、プリーツ加工方法に関する

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
141	第 5875761 号 (2010-280036)	コラーゲン線維ゲル およびその用途	H28. 1. 29 (H22. 12. 16)	柚木俊二 他 2 名	コラーゲン線維を架橋してなり、接着・増殖した細胞の牽引力によって収縮しない硬さを持つコラーゲン線維ゲル、およびそのコラーゲン線維ゲルを用いた動物移植用培養基材に関する
142	第 5876311 号 (2012-15800)	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	H28. 1. 29 (H24. 1. 27)	西沢啓子 神田浩一 渡辺茂幸	試料の吸音率を測定する吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラムに関する
143	第 5878294 号 (2011-2763)	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具	H28. 2. 5 (H23. 1. 11)	小金井誠司 他 4 名	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具において、チタン部材について、潤滑油を用いることなくドライ環境下での曲げ加工が行えるとともに、ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としても、曲げ加工が繰り返し行えるように、曲げ加工工具の耐久性を高めることができる、加工方法及加工工具に関する
144	第 5883287 号 (2011-276326)	防護帽、防護帽の使用 方法、防護服及び防護 装置	H28. 2. 12 (H23. 12. 16)	服部 遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 他 2 名	気体の供給によるフード部内の騒音を低減できるので、防護帽の装着者と他人との間で会話を適切に行うことができ、意思疎通を適切に図ることができる防護帽に関する
145	第 5892485 号 (2011-282885)	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	H28. 3. 4 (H23. 12. 26)	斎藤正明	多量の試料水の昼夜無人連続運転が可能であり、大幅に労力を省くことができる自動蒸発濃縮器に関する
146	第 5901156 号 (2011-144300)	無機有機複合粒子及びその製造方法	H28. 3. 18 (H23. 6. 29)	柳 捷凡	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法に関する
147	第 5917139 号 (2011-287408)	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	H28. 4. 15 (H23. 12. 28)	藤巻研吾 横澤 毅	ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法および装置に関する
148	第 5917108 号 (2011-260878)	電解セル	H28. 4. 15 (H23. 11. 29)	斎藤正明	電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水等の試料水中の純水を固体高分子電解質 (Solid Polymer Electrolyte) から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セルに関する
149	第 5989334 号 (2011-283724)	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材	H28. 8. 19 (H23. 12. 26)	中澤亮二 佐々木直里 小山秀美 平井和彦	リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壌改良資材に関する
150	第 6029149 号 (2014-126615)	編針の製造方法	H28. 10. 28 (H26. 6. 19)	堀江 暁 森河和雄 川口雅弘 三尾 淳	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するために DLC 膜を施した編針の製造方法
151	第 6004528 号 (2012-186879)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 9. 16 (H24. 8. 27)	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関する
152	第 6017431 号 (2013-533461)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H28. 10. 7 (H26. 2. 24)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
153	(2012-103787)	尾てい骨保護下着	(H24. 4. 27)	藤田薫子 他 1 名	尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着に関する
154	第 6052958 号 (2012-151440)	相溶化剤、その相溶化剤により相溶される複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶される複合体の製造方法	H28. 12. 9 (H24. 7. 5)	梶山哲人 清水研一 林 孝星 安田 健	脂肪酸ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤およびその相溶化剤により相溶される複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶される複合体の製造方法に関するものである
155	第 6059957 号 (2012-241704)	鳥獣識別装置、鳥獣識別方法、及びプログラム	H28. 12. 16 (H24. 11. 1)	大平倫宏 富山真一	特定の空間領域に存在する鳥獣のうち羽ばたいている状態の鳥獣を識別することのできる鳥獣識別装置等に関する
156	第 6057569 号 (2012-150881)	冷却シート	H28. 12. 16 (H24. 7. 4)	飛澤泰樹 清水研一 他 1 名	冷却シートに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シートに係るものである

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
157	第 6061483 号 (2012-068325)	冷却シート及びネッククーラー ※名称補正	H28. 12. 22 (H24. 3. 23)	清水研一 飛澤泰樹 他 1 名	冷却シートおよびネッククーラーに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シートおよびネッククーラーに関する
158	第 6066600 号 (2012-154100)	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	H29. 1. 6 (H24. 7. 9)	菅谷紘子 岩崎謙次	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関する
159	第 6071468 号 (2012-256802)	コラーゲン水溶液及びそれから得られるゲル	H29. 1. 13 (H24. 11. 22)	柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉	室温での流動性を長い時間保持でき、かつ、生体温度で速やかにゲル化することが可能なコラーゲン水溶液と、そのゲル
160	第 6080762 号 (2013-531434)	成形体の製造方法	H29. 1. 27 (H24. 8. 31)	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
161	第 6081156 号 (2012-251622)	ハイドロゲル	H29. 1. 27 (H24. 11. 15)	柚木俊二 大藪淑美 関口正之 他 1 名	持続的な抗菌作用を有し、かつ正常組織への刺激が少なく、生体適合性の高いハイドロゲルに関する
162	第 6081781 号 (2012-255357)	高融点ゼラチン組成物、その製造方法、およびその用途	H29. 1. 27 (H24. 11. 21)	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉	一般的な細胞育成の温度条件においてゲル状態を維持することができる高融点ゼラチンと、その製造方法等に関する
163	第 6108272 号 (2013-193718)	プラスチックのバイオマス由来判別方法	H29. 3. 17 (H25. 9. 19)	永川榮泰 柚木俊二 斎藤正明	プラスチックのバイオマス由来判別方法に関する

2) 外国特許登録

番号	登録番号	名称 (和名)	登録年月日	発明者	内 容
1	米国特許 第 5203901 号	結晶化ガラスの製造方法	H5. 4. 20	鈴木 蕃	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石または大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
2	韓国特許 第 10-1212393 号	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 12. 7	田中 実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ほうけい酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
3	米国特許 第 8729371 号	弦楽器、その製造方法及び装置	H26. 5. 20	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法等に関する
4	中国特許 ZL 2011 8 0011994. 1 (201180011994. 1)	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H27. 6. 24 (H24. 9. 3)	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに関する
5	韓国特許 第 10-1417009 号	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びガラスペースト	H26. 6. 30	田中 実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
6	韓国特許 第 10-1502996 号	燃料電池用集電材	H27. 3. 10	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に関する
7	韓国特許 第 10-1609080 号	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 3. 29	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関する
8	中国特許 ZL 201280042513. 8 (201280042513. 8)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 8. 24	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関する
9	米国特許 第 9, 480, 117 号 (14/354, 758)	電力線を介して負荷を制御するための制御システム ※名称補正	H28. 10. 25	佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
10	欧州特許 第 2757573 号 (12831773. 2)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H28. 11. 4	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する

3) 実用新案登録

番号	登録番号 (出願番号)	名称	登録年月日 (出願日)	考案者	内 容
1	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	H21. 3. 11	秋山 正 他 1 名	立体性を有し、かつより複雑な動作を現出し得るモバイル細工
2	登録第 3170441 号	照明器具	H23. 8. 24	上野明也 他 1 名	シェード部に設けられた模様板を光源が発する熱から保護し、インテリア性の高い照明器具
3	登録第 3171954 号	ブラジャー	H23. 11. 2	藤田薫子 他 1 名	授乳者や、乳ガンにより乳房を切除した乳ガン患者などが使用する、各種パッドを装着可能な圧迫感の小さいブラジャー
4	登録第 3183799 号	注射器の針部取り外し器具ユニット	H25. 5. 8	石堂 均 他 2 名	注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自己注射器材のユーザビリティを追及するための注射器、特に、ペン型のインスリン自己注射器の針部材取り外し器具ユニットに関する
5	登録第 3183939 号	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	H25. 5. 15	西川康博 佐野宏康 小船諭史 岩田雄介	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばねに関する
6	登録第 3194598 号	装飾品及び照明器具	H26. 7. 4	上野明也	希少なベッコ甲を有効に利用しつつ、ベッコ甲が持つ風合いを活かした装飾品および照明器具に関する
7	登録第 3195080 号	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	H26. 12. 3	秋山 正	立て掛けて保管した書籍等の水平面でのズレを防止するとともに、ブックスタンド一対を相互に向かい合わせて連結させてブックエンドを構成する際、その連結を安定させることができ、また、ブックスタンドとブックエンドや、ブックエンド同士をそれぞれ安定的に連結させていくことができ、さらに、本の収納領域の段階的な間隔調整も容易に行えるブックスタンド、ブックエンドおよびブックエンドユニットに関する
8	登録第 3195171 号	パンツ型着用物	H26. 12. 10	平山明浩 他 1 名	日常生活における着用者の動作に追従し着用者の肌と密着して、吸収パッドからの漏れを抑制するパンツ型着用物に関する

4) 意匠登録

番号	登録番号 (出願番号)	意匠に係る物品	登録年月日 (出願日)	創作者	内 容
1	登録第 1433084 号	ランプシェード	H24. 1. 6	上野明也 他 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードである
2	登録第 1439104 号	ランプシェード	H24. 3. 23	上野明也 他 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードであり、六角形状の面の素材が透光性を有するものである
3	登録第 1546747 号 (2015-013530)	ランプシェード	H28. 2. 26 (H27. 6. 18)	上野明也	LED などの光源を内部に収容して使用するランプシェードであり、大きさの異なる 3 つの六角形の枠（大枠、中枠、小枠）から形成され、大枠正面に透光性を有する素材が配設されてなるものである
4	登録第 1571378 号 (2016-011576)	ロボット	H29. 2. 10 (H28. 5. 31)	小林裕介 村上真之 坂下和広	自律的に走行可能なロボットである。例えば、屋内または屋外の施設で、施設内巡回や施設利用者への案内等を行う

5) 商標登録

番号	登録番号	商標	登録年月日	内 容
1	登録第 5358694 号		H22. 10. 8	世界一高い電波塔東京スカイツリー、墨田区をモチーフにデザイン開発した墨田区発の子ども服中心のブランド
2	登録第 5424369 号	サスティーモ (標準文字)	H23. 7. 8	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド
3	登録第 5466219 号		H24. 1. 27	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド
4	登録第 5492668 号		H24. 5. 11	メリヤス（ニット）の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー（実験室）の「ラボ」から生まれたニットブランド
5	登録第 5663387 号		H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター
6	登録第 5663388 号	チリン (標準文字)	H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター名
7	登録第 5680841 号		H26. 6. 27	介護服の新ブランド
8	登録第 5689214 号		H26. 7. 25	都産技研のロゴマーク
9	登録第 5689215 号	東京都立産業技術 研究センター (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の名称
10	登録第 5689216 号	TIRI (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の英語略称

(3) 出願案件 ※公報が発行されていない出願の内容は「未公開」と表記

1) 国内出願

番号	出願番号	名称	出願年月日	発明者	内容
平成 18 年度					
1	2007-079315	アーク発光分光による材料中の微量成分分析法	H19. 3. 26	佐々木幸夫	アーク発光分光分析装置にアルゴンと酸素の混合ガスを導入することによる金属材料中の炭素を主とした微量成分の定量分析に関すること
平成 19 年度					
1	2007-303522	吸着槽交換時期を監視するシステム及びこれを具備する揮発性有機化合物廃ガス処理装置	H19. 11. 22	阪口文雄 武田有志	VOC ガス処理装置において、吸着体の効率的な交換や脱着が図ることのできる、吸着体による捕集不能となる状態の検出機構ならびに検出方法に関する
2	2008-018066	マイクロバルブを有する微細流路	H20. 1. 29	伊東洋一 基 昭夫 他 2 名	微細流路内に磁力を用いて金属内包カーボンナノ粒子を固定・移動させることにより液体や気体の流れを制御 (ON・OFF) させる技術
3	2008-022789	路面標示物の除去装置及び路面標示物の除去方法	H20. 2. 1	小池茂幸	道路路面標示塗料をヒーターにより溶かし、ローラーブラシでかきとり、しかも残渣を効率よく回収することのできる道路の路面表示物の消去方法および装置に関する
4	2008-054596	ガス濃度測定装置および測定方法、累積ガス量測定装置および測定方法、ガス除去装置における除去剤の除去限界類推装置および類推方法	H20. 3. 5	武田有志 他 3 名	管内を通過する VOC ガスの累積ガス量を一つのセンサで計測する機構とその方法に関する
平成 20 年度					
1	2008-303347	生地加工方法	H20. 11. 28	木村千明 小林研吾 藤田 茂	合成繊維とセルロース系繊維とを組成繊維とする織物または編物から成る生地に透かし模様と凹凸模様とを同時形成するための生地加工方法
2	2009-042030	マグネシウム合金部材のせん断加工用金型およびせん断加工方法	H21. 2. 25	基 昭夫 他 2 名	マグネシウム合金は、常温での延性が乏しくせん断面が荒れるため、最適加工条件や工具形状を開発し、現行品に使用されているアルミニウム合金と同等のせん断面平滑度を得た
3	2009-042804	織物及び編物のプリーツ性試験方法とその装置	H21. 2. 25	田中みどり 岩崎謙次	伸長法プリーツ性試験方法の距離測定を目視から画像センサーによる方法に改善し、正確かつ効率的な試験が可能となる装置を製作した
平成 21 年度					
1	2009-134114 【優先権主張】 原出願 2008-145511	編針及びその製造方法	H21. 6. 3	堀江 暁 森河和雄 三尾 淳 川口雅弘	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するために DLC 膜を施した編針とその製造方法
2	2009-213585	画像合成装置及び画像合成方法	H21. 9. 15	大平倫宏 他 1 名	取得順序未知の特徴に乏しい画像群に対するパノラマ画像合成装置および方法についての特許出願である。請求項では、合成後に取得漏れがあった際のアラーム機能についても記述をしている
3	2009-285657	LED 点灯回路	H21. 11. 27	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	商用電源またはその他の交流電源を利用する高効率で高周波ノイズ発生のない、LED 点灯回路
4	2010-046922	活性炭及びその製造製法	H22. 3. 3	瓦田研介 井上 潤 萩原利哉 他 1 名	従来の煩雑な工程を経ずに容易な工程で、未利用バイオマス (特に、杉やひのき等の木質系未利用バイオマス) を原料として活用することができ、しかもコストパフォーマンスに優れた、高比表面積を有する活性炭およびその製造方法
5	2010-48371	多孔質シリカならびにその製造方法および集合体	H22. 3. 4	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
6	2010-71902	揮発性有機化合物分解反応器	H22. 3. 26	紋川 亮 杉森博和 秋山恭子 他 1 名	VOC 分解反応器をガスの流れが均一になるような構造にすることで、分解反応に寄与しないデッドゾーンが生じることを回避することで分解効率を上げ、さらに反応器自体の製造コストを抑えることを可能とする VOC 分解反応器
7	2010-72806	工場排気ガス処理装置	H22. 3. 26	小島正行 平野康之 他 2 名	印刷工場、塗装工場、金属表面処理工場等から排出される、光化学スモッグの原因となる微小粒子物質、特に VOC および塗料、インクなどの高沸点有機化合物ならびにダスト等を、ろ布に担持した吸着剤を使って除去する。ハンドリング性に優れ、かつ吸着剤の消費量が少なく、また、吸着剤の再生が容易な排気ガス処理装置
8	2010-72807	工場排気ガスの 2 層ろ過装置	H22. 3. 26	小島正行 他 2 名	塗装、めっき、印刷等の各種工場の排気ガスに含まれるミスト、VOC、ダストなどの有害成分を、ろ布と 2 種類のろ過補助材を使って捕集する。ろ過補助材は未利用資源である木材を有効利用し、適宜回収、再生することで経済的なプロセスを確立
平成 22 年度					
1	2010-163584	フィールド機器用データストレージシステム	H22. 7. 21	金田泰昌 佐月康晴 佐野宏靖 他 6 名	記録済みのデータが外部から改変あるいは削除されたりする可能性を低減できる、フィールド機器用データストレージシステム
2	2010-248770	塗装物のパッチ式乾燥装置及びその操作方法	H22. 11. 5	小島正行 染川正一 秋山恭子 荻原利哉 他 2 名	判定作業の効率化を図り、被測定用半導体材料を面的に PN 判定する
3	2011-038925	オゾン濃度測定装置	H23. 2. 24	中村広隆 他 6 名	測定セルを通過する試料ガスが長い透過距離を移動すると透過中にオゾンが何度も紫外線に照射され、正しいオゾン濃度測定ができない。このため、窒化物系深紫外線半導体素子を使用した、正しい測定値が得られ、装置へのダメージを排除するオゾン濃度測定装置を提供する
平成 23 年度					
1	2011-124782	有害化学物質低減木質ボードの製造方法と有害化学物質低減木質ボード	H23. 6. 3	濱野智子 瓦田研介 他 2 名	木質ボードにおいて、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ユリア樹脂、イソシアネート樹脂等の石油系樹脂を接着剤に使用しながら接着耐久性や操作性を確保しつつシックハウス症候群の原因である有害化学物質を有意義な程度まで低減した木質ボードの実現
2	2011-220895	塗装物の乾燥・焼付炉	H23. 10. 5	小島正行 藤井恭子 染川正一 荻原利哉 他 1 名	塗装物の乾燥・焼付炉に係り、特に中小規模の塗装工場内へ好ましく設置することができ、装置コストの低減および塗装物を乾燥・焼付する際の省エネに寄与する技術に関する
3	2011-236695	制御システム	H23. 10. 28	佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
4	2012-074775 【優先権主張】 原出願 2011-071215	コラーゲン膜及び培養容器	H23. 3. 28	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコラーゲンゲル膜およびこれを用いた培養容器に関する
平成 24 年度					
1	2012-129660	重金属吸着剤及び重金属回収方法	H24. 6. 7	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	金属の吸着剤、さらに詳しくは担子菌の死菌体またはこれを含有する廃菌床を利用した重金属吸着剤、およびこれらを使用する重金属回収方法等に関する
2	2012-143083	テトラフルオロエチレンにより化学修飾されたポリエチレンおよびその製造方法	H24. 6. 26	榎本一郎	機能性プラスチックに関し、特に撥水性に優れた機能性ポリエチレンに関する

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
3	2012-180829 【分割出願】 親出願 2008-131617	高強度ダイヤモンド膜工具	H24. 8. 17	横澤 毅 寺西義一 玉置賢次 片岡征二 他 1 名	耐欠損性を向上させることで破壊強度と耐摩耗性に優れ、かつ放電加工等の電気加工を主体とした研磨加工が可能な多結晶・単結晶の高強度ダイヤモンド膜工具やコーティング工具を提供することにある
4	2012-181879	補助布付きコート、補助布及びマフラー	H24. 8. 20	加藤貴司	高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコート等に関する
5	2012-214096	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	H24. 9. 27	窪寺健吾 山本悦子 樋口英一 樋口明久	金属繊維と化学繊維等を撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチに関する
6	2012-227142 【分割出願】 親出願 2009-520544	燃料用電池用セパレータプレート の製造方法及びそれを利用した燃料電池	H24. 10. 12	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により非印刷部分を設けつつ高精度に形成する
7	2012-257432	ライトパイプ	H24. 11. 26	横田浩之	発光の形状を点状に近似させ、発光の位置を任意とすることで、LED を光源としつつフィラメント素子との相違を解消させてフィラメント素子の配光に近似させることができるライトパイプに関する
8	2012-266048	プラスチックのバイオマス由来判別方法	H24. 12. 5	永川栄泰 柚木俊二 斎藤正明	固体プラスチックに含まれる放射性炭素(¹⁴ C)を、LSC法を用いて固体のまま測定するプラスチックのバイオマス由来判別方法
9	2012-275046 【優先権主張】 原出願 2011-275027	骨結合性材料、人工骨並びに 基材と自家骨との結合促進 方法	H24. 12. 17	寺西義一 他 1 名	所望の部位において自家骨との結合を促進させることができる骨結合性材料等に関する
10	2013-021929	メカニカルシールおよびその製造方法	H25. 2. 7	長坂浩志 渡辺友太郎 寺西義一 他 1 名	未公開
11	2013-070640 【優先権主張】 原出願 2012-125985	LED 照明の分光分布設計方法	H25. 3. 28	岩永敏秀 中村広隆 他 4 名	基準光源との色みえの差が小さい分光分布を得ることができる、または、ある特定の色を鮮やかにかつ明るく見せる分光分布を得ることが可能となる LED 照明の分光分布設計方法に関する
平成 25 年度					
1	2013-096087	金属編地及びその製造方法	H25. 4. 30	唐木由佑	通気性、光透過性に優れた金属編地およびその製造方法に関する
2	2013-100737	光源装置	H25. 5. 10	横田浩之 他 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、点光源を形成することを実現可能とする光源装置に関する
3	2013-113498	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びに X 線三次元測定装置及び方法	H25. 5. 29	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
4	2013-119604 【優先権主張】 原出願 2012-129660	重金属吸着剤及び重金属回収方法	H25. 6. 6	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	液体中の金属、特に廃水中の重金属を迅速に吸着した後、効率よく回収できる吸着剤およびそれを用いた重金属の回収方法に関する
5	2013-125803	配光測定装置および配光測定方法	H25. 6. 14	横田浩之	面発光体の配光分布の測定を精度良く行うことを可能にしつつ、装置の大型化を回避可能にする配光測定装置等に関する
6	2013-129077	電気ニッケルめっき液および電気めっき方法	H25. 6. 19	浦崎香織里 土井 正	ピット防止等のための添加剤やほう素を含まない、高速電気めっきのめっき液として用いた場合にも、耐食性および外観に優れためっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき液に関する
7	2013-134031	移動台車の制御装置及び移動台車の制御方法	H25. 6. 26	坂下和広	移動台車上に配設された構造体の向きを所定方向に制御しつつ任意の方向に移動可能な移動台車の制御装置に関する

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
8	2013-159010	飛行装置及び駆動装置	H25. 7. 31	益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 島田茂伸 坂下和広	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置の姿勢を自由に制御可能とするシステムに関する
9	2013-172143	照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体	H25. 8. 22	澁谷孝幸 岩永敏秀 横田浩之	放熱構造が備えられた照明器具の光源特性を明確にすることができ、照明器具の測光量を測定する際の安定性の評価を精度良く行うことができる測光量測定安定性評価方法等に係る技術に関する
10	2013-181647	クロムフリー化成処理液および化成処理方法	H25. 9. 2	浦崎香緒里 他 1 名	クロムを用いずに、亜鉛や亜鉛合金の表面に耐食性のより高い化成皮膜を形成する化成処理液等に関する
11	2013-192629	オゾン濃度測定装置	H25. 9. 18	武田有志 中村広隆 他 3 名	固体発光素子をチョップ発信させ計測する紫外線吸収式オゾン濃度測定装置に関する
12	2013-194199	ノード装置及びネットワークシステム	H25. 9. 19	中川善継	データの収集と、データフレームの転送とを同時に行うことができ、このためスループットの低下を抑制することができるノード装置およびネットワークシステム
13	2013-218054	光学部材および光源装置	H25. 10. 21	横田浩之 他 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、必要十分な平行度の出射光を得ることを実現可能とする光源装置
14	2013-224627	X線三次元測定装置及びX線三次元測定方法	H25. 10. 29	紋川 亮 中西正一 阿部真也	X線CT画像を補正して測定対象物のエッジを精確に特定することができるX線三次元測定装置
15	2013-224629	三次元測定装置及び三次元測定方法	H25. 10. 29	紋川 亮 中西正一 阿部真也	測定対象物の三次元形状を測定する際の作業効率を格段に向上させることができる三次元測定装置
16	2013-240142 【分割出願】 親出願 2009-053490	局在プラズモン共鳴センサ	H25. 11. 20	紋川 亮 加澤エリト	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサにおいて、リソグラフィ法による製造上必要不可欠な、誘電体基板と金属微細構造の間に挿入される導電層または密着層としての金属層を除去することなく、かつ複雑、高価な製造工程を必要とすることのない、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
17	2013-241895	運動支援システム及び運動支援プログラム	H25. 11. 22	後濱龍太 他 1 名	内発的動機付けを促進するとともに、運動強度および運動部位が適切な範囲にある運動を行うことができるようにユーザーを支援することができる運動支援システムおよび運動支援プログラム
18	2013-256516	反応物供給流路	H25. 12. 11	峯 英一 窪寺健吾 他 2 名	液体燃料に用いた場合にも発電性能が高く、簡便に製造できる、反応物供給流路
19	2014-001479 【優先権主張】 原出願 2013-001809	リグノセルロースからのセルロース抽出方法	H26. 1. 8	濱野智子 飯田孝彦 小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介	多量の廃棄物を生じるような高温高圧処理等を必要としない、簡便な、植物系バイオマスまたはリグノセルロースからのセルロースの溶解および/または抽出方法、特に簡便で高効率な植物系バイオマスの糖化前処理技術に関する
20	2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	H26. 2. 21	水元和成 他 2 名	亜硫酸金塩およびパラジウム錯塩を含むメッキ液を用いて深味のある黒色調の金・パラジウム合金皮膜に関する
21	2014-048017	信号検出装置及び信号検出方法	H26. 3. 11	村上真之 志水 匠	電磁ノイズを検出対象信号として誤検出することを防止することができる信号検出装置および信号検出方法
22	2014-052115 【優先権主張】 原出願 2013-052321	塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法	H26. 3. 14	杉森博和 安藤恵理 田熊保彦 瓦田研介 荒川 豊	現場で使用可能な小型の装置に適用でき、安価であって、短時間に塩化物イオンを定量することが可能であり、かつ指針値に対して十分な感度を有している塩化物イオンの定量方法および塩化物イオンの定量装置等に関する

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
平成 26 年度					
1	2014-092371 【優先権主張】 原出願 2013-095732	マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料	H26. 4. 7	岩岡 拓	マグネシウム粉末冶金材料中のマグネシウム粉末同士間の結合力を強化し、当該材料の組織を維持したまま、その組織を緻密化したマグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法等に関する
2	2014-107600	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	H26. 5. 23	後濱龍太 他 1 名	未公開
3	2014-124534	圧力測定用材料とその製造方法並びに圧力測定方法	H26. 6. 17	吉野 徹 山中寿行 大久保一宏 渡邊禎之	未公開
4	2014-144888 【優先権主張】 原出願 2013-147761	マイクロヒータ	H26. 7. 15	山岡英彦	熱応力を抑制することができるマイクロヒータに関する
5	2014-168330	触媒	H26. 8. 21	染川正一 渡辺洋人 他 2 名	未公開
6	2014-189562 【優先権主張】 原出願 2013-195891	揮発性有機化合物検出センサ	H26. 9. 18	紋川 亮 月精智子 城 照彰 他 3 名	未公開
7	2014-192135	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コアおよびサンドイッチパネル	H26. 9. 22	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	未公開
8	2014-198975 【分割出願】 親出願 2012-503249	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H26. 9. 29	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカと、その製造方法に関する
9	2014-202048 【優先権主張】 原出願 2014-000573	成形体	H26. 9. 30	寺西義一 他 2 名	生体親和性、生体分解性、および強度に優れる成形体
10	2014-209085	遅延量測定回路および遅延量測定方法	H26. 10. 10	岡部 忠	未公開
11	2014-210057	コラーゲン水溶液及びそれを用いたゲルの製造方法	H26. 10. 14	柚木俊二 畑山博哉 大藪淑美	未公開
12	2014-210060	コラーゲンゲルの作製方法及びコラーゲンゲル	H26. 10. 14	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝	未公開
13	2014-211950 【優先権主張】 原出願① 2013-095732 原出願② 2014-125805	金属イオン捕集材	H26. 10. 16	梶山哲人 他 1 名	水溶液中の金属イオンを捕集でき、金属イオンによっては選択的に捕集できる地球環境に優しい金属イオン捕集材
14	2014-223328	量子ドット複合光触媒	H26. 10. 31	渡辺洋人 染川正一 他 2 名	未公開
15	2014-2350504	放熱性を向上させる塗装方法および塗装装置および塗料	H26. 11. 13	木下稔夫 他 3 名	未公開
16	2014-233373	多孔質シリカの製造方法	H26. 11. 18	渡辺洋人 他 2 名	未公開
17	2014-250421	ナノ粒子の製造方法	H26. 12. 10	川口雅弘 渡邊禎之 林 英男	未公開
18	2014-259095	成形材料、成形体の製造方法、及び成形体	H26. 12. 22	上野明也 山中寿行	未公開
19	2015-006392	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	H27. 1. 16	唐木由佑 他 2 名	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
20	2015-060009	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメントCVD装置及びメカニカルシール	H27. 3. 23	長坂浩志 他 2 名	未公開
平成 27 年度					
1	2015-078027 【優先権主張】 原出願 2014-079717	局在表面プラズモン共鳴センサ、ガスセンサ及び製造方法	H27. 4. 6	加澤エリト 紋川 亮	未公開
2	2015-080285	LED 照明の分光分布設計方法	H27. 4. 9	岩永敏秀 中村広隆	未公開
3	2015-110645	強度確知評価方法	H27. 5. 29	川口雅弘 他 1 名	未公開
4	2015-116085	廃棄汚泥の減少方法	H27. 6. 8	田中真美 中澤亮二 小林宏輝 佐々木直里	未公開
5	2015-120886	光電変換装置	H27. 6. 16	太田優一	未公開
6	2015-121205 【優先権主張】 原出願 2014-125217	多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体、炭素粒子蛍光体、多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体の製造方法および炭素粒子蛍光体の製造方法	H27. 6. 16	林 孝星 渡辺洋人 他 2 名	未公開
7	2015-132390	車輪構造体	H27. 7. 1	西川康博	未公開
8	2015-140165	表面プラズモン共鳴測定装置及びそのチップ	H27. 7. 14	紋川 亮	未公開
9	2015-168867	微粒子凝集制御装置、微粒子凝集体生成方法、および微粒子凝集体	H27. 8. 28	海老澤瑞枝 山口隆志 寺西義一 磯田和貴	未公開
10	2015-172025	造形材料	H27. 9. 1	飛澤泰樹 小沼ルミ 村上祐一	未公開
11	2015-196042	局在表面プラズモン共鳴センサ	H27. 10. 1	加澤エリト	未公開
12	2015-201498	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	H27. 10. 9	小宮一毅 藤原康平 小林丈士 他 5 名	未公開
13	2015-208371	ダイヤモンド結晶製造装置及びダイヤモンド結晶製造方法	H27. 10. 22	川口雅弘 他 2 名	未公開
14	2016-008946	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	H28. 1. 20	紋川 亮 他 1 名	未公開
15	2016-008947	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	H28. 1. 20	紋川 亮 他 1 名	未公開
16	2016-019288 【優先権主張】 原出願 2015-019615	緊急停止方法、緊急停止システム及びその自己診断方法	H28. 2. 3	村上真之	未公開
17	2016-030300 【優先権主張】 原出願 2015-057992	積層造形装置を用いた積層造形方法	H28. 2. 19	山内友貴	未公開
18	2016-068938	導電性繊維	H28. 3. 30	添田 心 古田博一 池田善光	未公開
平成 28 年度					
1	2016-091317	光学特性測定装置および光学特性測定方法	H28. 4. 28	横田浩之	未公開
2	2016-107468	ガス流路構造および流量センサ	H28. 5. 30	山岡英彦 他 1 名	未公開
3	2016-109516	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	H28. 5. 31	柳 捷凡	未公開
4	2016-112634	情報処理装置、情報処理方法、及びプログラム	H28. 6. 6	大平倫宏 富山真一	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
5	2016-113048	物体追跡装置、物体追跡方法、及び物体追跡プログラム	H28. 6. 6	中村佳雅 吉村僚太 佐々木智典 武田有志 坂下和広	未公開
6	2016-119770 【優先権主張】 原出願 2015-125324	めっき付き樹脂成形体	H28. 6. 16 (H27. 6. 23)	竹村昌太 浦崎香織里 土井 正 桑原聡士 小野澤明良	未公開
7	2016-120703	アシスト装置装着用のウェアおよびアシストウェアシステム	H28. 6. 17	加藤貴司 他 1 名	未公開
8	2016-131911	非架橋ゼラチン、ゼラチン混合体、およびこれらを含む化粧料用または医薬用ゼラチン	H28. 7. 1	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 他 2 名	未公開
9	2016-138685	6価クロム含有廃液の処理剤および処理方法	H28. 7. 13	杉森博和	未公開
10	2016-138896	ハイドロゲル及びハイドロゲルの製造方法	H28. 7. 13	永川栄泰 柚木俊二 中川清子 関口正之	未公開
11	2016-141417 【分割出願】 親出願 2012-186879	多孔質シリカ内包粒子の製造方法	H28. 7. 19 (H27. 6. 23)	渡辺洋人 他 2 名	未公開
12	2016-151279	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	H28. 8. 1	平野康之 篠田 勉	未公開
13	2016-153201 【優先権主張】 原出願 2015-158143	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	H28. 8. 3 (H27. 8. 10)	大西 徹 村上祐一	未公開
14	2016-155123	情報検索方法、情報検索プログラム、情報検索用端末および情報検索装置	H28. 8. 8	阿部真也 三木大輔 他 2 名	未公開
15	2016-160254	機能性薄膜及びその製造方法	H28. 8. 17	寺西義一 他 1 名	未公開
16	2016-170665 【優先権主張】 原出願 2015-225399	フローセンサ及びその製造方法	H28. 9. 1 (H27. 11. 18)	山岡英彦 他 1 名	未公開
17	2016-172118	白金担持体とそれを用いた酸素還元触媒およびその製造方法ならびに燃料電池、金属空気電池	H28. 9. 2	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	未公開
18	2016-175457 【優先権主張】 原出願 2015-196152	回転体、回転機械及びポンプ	H28. 9. 8 (H27. 10. 1)	小西 毅 平野康之	未公開
19	2016-195995 【優先権主張】 原出願 2015-196039	通気性扉	H28. 10. 3 (H27. 10. 1)	渡辺茂幸 服部 遊 西沢啓子 宮入 徹 神田浩一	未公開
20	2016-197054	X線CT装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	H28. 10. 5	紋川 亮	未公開
21	2016-202142	CT装置用校正器	H28. 10. 13	竹澤 勉	未公開
22	2016-213024	高分子多糖類又はタンパク質架橋用架橋剤及びその製造方法、並びに、タンパク質架橋用架橋剤及びその製造方法	H28. 10. 31	成田武文 柚木俊二 他 1 名	未公開
23	2016-213025	止血材用スポンジ及びその製造方法	H28. 10. 31	成田武文 柚木俊二	未公開
24	2016-219377	ノイズ源探査システムおよびノイズ源探査方法	H28. 11. 10	佐野宏靖 佐々木秀勝 金田泰昌	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
25	2016-219707	ガス電子増幅モジュール	H28. 11. 10	小宮一毅 小林丈士 藤原康平	未公開
26	2016-224255	生体組織孔閉鎖用、管腔状組織閉塞用及び潰瘍保護用ゾル	H28. 11. 17	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 他 2 名	未公開
27	2016-224258	粘膜下局注用コラーゲンゾル	H28. 11. 17	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 他 2 名	未公開
28	2016-231519	放射線量計測装置、放射線量計測方法及び放射線量計測システム	H28. 11. 29	中川善継 村上知里 他 1 名	未公開
29	2016-239628	六輪移動架台	H28. 12. 9	益田俊樹	未公開
30	2016-243600	導波管マイクロストリップ線路変換器	H28. 12. 15	藤原康平 小林丈士	未公開
31	2017-015919	金属イオンを分離することのできる配位子とそれを用いた分離材	H29. 1. 31	梶山哲人 他 1 名	未公開
32	2017-018226	熱伝導式センサ	H29. 2. 3	豊島克久	未公開
33	2017-021470	保存対象物の保存方法、ゾルゲル転移体およびこれを含む保存剤	H29. 2. 8	大藪淑美 柚木俊二 藤井恭子 他 3 名	未公開
34	2017-021470	温度補正方法、温度補正プログラム、及び座標測定機	H29. 2. 8	大西 徹 小林祐一	未公開
35	2017-030413	LA-ICP-MS 装置を用いた定量分析方法および LA-ICP-MS 装置	H29. 2. 21	林 英男 川口雅弘 渡邊禎之	未公開
36	2017-037309	非接触給電構造およびこれを備えた駐輪施設	H29. 2. 28	秋山美郷 佐野宏靖 大森 学	未公開
37	2017-040525 【優先権主張】 原出願 2016-041375	成形体の製造方法	H29. 3. 3 (H28. 3. 3)	峯 英一 伊東洋一 小野澤明良	未公開
38	2017-040986 【優先権主張】 原出願 2016-044667	ダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材及びダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法	H29. 3. 3 (H28. 3. 8)	徳田祐樹 川口雅弘 他 2 名	未公開
39	2017-061293	移動ロボット及び制御回路	H29. 3. 27	村上真之 坂下和広 佐藤 研 森田裕介	未公開

2) 外国出願（自国指定も含む）

番号	出願番号	名称（和名）	出願年月日	発明者	内 容
1	10-2009-7023522 【韓国移行出願】 PCT/JP2008/061295	燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池	H21. 1. 11	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回刷重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法
2	2012-503249 【自国指定出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 7. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
3	13/582112 【米国移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 8. 31	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
4	【中国移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 9. 3	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
5	11750758.2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 9. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術

番号	出願番号	名称 (和名)	出願年月日	発明者	内 容
6	10-2012-7025433 【韓国移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24. 9. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
7	11 2011 103 324.9 【ドイツ移行出願】 PCT/JP2011/072912	燃料電池用集電材	H25. 3. 8	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に係り、特に、平板型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルとセパレータの間に設けられる集電材、および円筒型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルの空気極と燃料極の内周面または外周面に設けられる集電材に関する
8	2013-533461 【自国指定出願】 PCT/JP2012/004025	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H26. 2. 24	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
9	14/241589 【米国移行出願】 PCT/JP2012/071699	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H26. 2. 27	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
10	2013-531433 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072214	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
11	2013-531434 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072216	成形体の製造方法	H26. 2. 27	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
12	2013-531435 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072217	成形用材料と、これを用いた成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
13	12828428.8 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072214	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
14	12828401.5 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072216	成形体の製造方法	H26. 2. 27	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
15	12826932.1 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072217	成形用材料と、これを用いた成形体	H26. 2. 27	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源 (バイオマス) を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
16	12828309.0 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/071699	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H26. 3. 12	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
17	14/216,588 【米国移行出願】 PCT/JP2012/004025	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H26. 3. 17	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
18	2013-540845 【自国指定出願】 PCT/JP2012/077719	制御システム	H26. 4. 17	佐藤 研 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
19	2015-508824 【自国指定出願】 PCT/JP2014/59526	悪臭処理用担持触媒	H27. 8. 4	染川正一 井上 潤 他 1 名	Co、Ce 系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒

番号	出願番号	名称（和名）	出願年月日	発明者	内 容
20	2015-519944 【自国指定出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 10. 30	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
21	14/894, 325 【米国指定出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 12. 8	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
22	14804436. 5 【欧州指定出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 12. 15	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
23	16180850. 6 【欧州分割出願】 親出願 1404436. 5	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法	H28. 7. 22	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
24	2017-508416 【自国指定出願】 PCT/JP2016/059352	ロッカーボキー	H29. 2. 21	坂下和広 森田裕介 益田俊樹	未公開

3) PCT 出願

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
1	PCT/JP2009/058891 【PCT 優先権出願】 原出願 2008-127030	トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法	H21. 5. 13	月精智子 他 4 名	トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法に関し、特に高感度かつ簡便にトルエンを検出することができる、トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法
2	PCT/JP2014/052958 【PCT 優先権出願】 原出願 2013-021929	メカニカルシールおよびその製造方法	H26. 2. 7	長坂浩志 渡部友太郎 寺西義一 他 1 名	メカニカルシールに要求される漏洩防止性能を満たしながら、優れた耐久性を有するダイヤモンド被膜面を有するメカニカルシールおよびその製造方法
3	PCT/JP2016/055825 【PCT 優先権出願】 原出願① 2014-039680 原出願② 2015-039192	周波数変換器、計測システム及び計測方法	H28. 2. 26	藤原康平 小林丈士	単純化した構成を有する周波数変換器
4	PCT/JP2016/66539 【PCT 優先権出願】 原出願 2015-115101	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H28. 6. 3	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
5	PCT/JP2016/080829 【PCT 優先権出願】 原出願 2015-207399	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	H28. 10. 18	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 他 2 名	未公開

4) 実用新案登録出願

平成 28 年度はなし

5) 意匠登録出願

平成 28 年度はなし（登録設定済み）

6) 商標登録出願

番号	出願番号	商 標	出願年月日	発明者	内 容
1	979000 【タイ王国出願】		H27. 3. 19	国際化推進 室の所管	都産技研のロゴマーク 区分：第 41 類
2	979001 【タイ王国出願】		H27. 3. 19	国際化推進 室の所管	都産技研のロゴマーク 区分：第 42 類

(4) 実施許諾

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
1	特許	特許第 3812783 号	超音波振動付加型摩擦試験機	1
2	特許	①特許第 4791746 号 ②韓国第 10-2006-28002	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
3	特許	特許第 4394050 号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
4	特許	特願 2009-286822	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
5	特許	特許第 3292239 号	鋳造用すず合金	1
6	特許	特許第 3779290 号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	1
7	特許	特願 2010-047997	防護服	1
8	特許	特願 2009-266467	家畜骨残渣の処理方法	2
9	特許	特願 2011-276326	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
10	特許	特願 2011-282885	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2
11	特許	特許第 5107571 号	LED 制御方法	1
12	特許	特願 2001-024519	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	1
13	特許	特許第 3261676 号	電気ニッケルめっき浴	1
14	特許	特許第 4599529 号	放射線照射判別方法および放射線判別システム	1
15	特許	特願 2012-251622	ハイドロゲル	1
16	特許	特許第 5243222 号	粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法	1
17	特許	特許第 5422320 号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	1
18	特許	特許第 5414719 号	無機酸化物成形触媒とその製造方法	1
19	特許	特許第 4359537 号	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	1
20	特許	特許第 5572459 号	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	1
21	特許	特願 2011-065307	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	1
22	特許	特願 2013-074842	悪臭処理用担持触媒	1
23	特許	特願 2011-138440	絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品	1
24	特許	特願 2011-059966	赤色ガラス	1
25	特許	特願 2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	1
26	特許	特願 2012-214096	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	1
27	特許	特願 2013-070640	LED 照明の分光分布設計方法	2
28	特許	特願 2015-158143	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	1
29	実用新案	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	1
30	実用新案	登録第 3170441 号	照明器具	1
31	実用新案	登録第 3171954 号	ブラジャー	1
32	意匠	登録第 1433084 号	ランプシェード	1
33	意匠	登録第 1439104 号	ランプシェード	1
34	商標	登録第 5358694 号		1
35	商標	登録第 5424369 号	サスティーモ【標準文字】	1
36	特許	特願 2016-109516	多層グラフェン分散液並びに熱物性測定用黒化剤	1
37	特許	特願 2015-115101	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
38	特許	特願 2016-197054	X 線 CT 装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	1
39	特許	特許第 5388304 号	掲示板のための照明装置	1
40	意匠	登録第 1546747 号	ランプシェード	1

(5) 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下のとおり掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『平成 27 年度ブランド確立実践ワークショップ 成果事例集』（平成 28 年 3 月発行）、pp. 8～9 「利用者の要望をつかみ、コンセプトを再設計 改善し続ける医療機器メーカー」	泉工医科工業(株)	泉工医科工業(株)社内報 「いずみ」7月号 (平成 28 年 7 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 5 号 (平成 22 年度)』 (平成 22 年 11 月 15 日発行)、pp. 14～17 「食品異物検査装置のユーザビリティ向上のための アルゴリズム開発」	(株)東レリサーチセンター	「異物分析・除去技術」 (平成 28 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 6 号 (平成 23 年度)』 (平成 23 年 9 月 26 日発行)、pp. 34～37 「熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析法の異物 分析への応用に関する研究」	(株)東レリサーチセンター	「異物分析・除去技術」 (平成 28 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究所 『研究報告 第 5 号 (平成 14 年度)』 (平成 14 年 11 月 28 日発行)、pp. 17～20 「『三宅ガラス』の開発」	ジューグレイブ(株)	「災害と防災 3 火山」 (平成 29 年 2 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 11 号 (平成 28 年度)』 (平成 28 年 9 月 26 日発行)、pp. 48～51 「金属粉末積層造形におけるモデル形状に対する条 件データベースの構築」	(株)アグネ技術センター	「金属」5月号 (平成 29 年 5 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 11 号 (平成 28 年度)』 (平成 28 年 9 月 26 日発行)、pp. 102～103 「亜鉛めっき用クロムフリー化成皮膜形成に関する 検討」	(株)アグネ技術センター	「金属」5月号 (平成 29 年 5 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『平成 28 年度 都産技研活用事例集』 (平成 29 年 1 月発行)、表紙、p. 11 「リフォーム量®」	大山畳店	大山畳店ウェブサイト
東京都立産業技術研究所 『研究報告 第 3 号 (平成 12 年度)』 (平成 12 年 12 月 15 日発行)、pp. 41～46 「照射鶏肉の炭化水素法及び ESR 法による検知」	(株)バンティアン	東京学芸大学の講義資料および ウェブサイト
東京都立産業技術研究所 『研究発表会要旨 (平成 10 年度)』 (平成 10 年 10 月発行)、p. 59 「熱ルミネッセンス法による照射食品の検知」	(株)バンティアン	東京学芸大学の講義資料および ウェブサイト

また、著作物の複写（コピー）を適正に取り扱うために、平成 19 年度より公益社団法人日本複製権センターと契約している。

3.8.2 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体等から依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定等の技術審査のため、書類審査および審査委員の派遣を行っている。

平成 28 年度は 26 団体からの依頼により 66 事業の審査に携わり、延べ 5,200 件の技術審査を行った。

	実施主体	審査件名	延べ件数
東京都	産業労働局商工部	経営革新計画等承認審査会	382
	産業労働局商工部	世界発信コンペティション（製品・技術（ベンチャー技術）部門）	548
	産業労働局商工部	新事業分野開拓者認定（トライアル発注）	205
	産業労働局商工部	文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	75
	その他		79
	小計（比率%）		1,289(24.8%)
(公財)東京都中小企業振興公社	助成課	(公財)東京都中小企業振興公社助成事業	1,646
	助成課	中小企業応援ファンド（地域資源活用助成）	71
	設備リース課	成長産業等設備投資特別支援事業	202
	その他		47
	小計（比率%）		1,966(37.8%)
区市	(公財)大田区産業振興協会	新製品・新技術支援事業	108
		大田区中小企業新製品新技術コンクール	208
	北区	新製品・新技術支援事業	33
	品川区	メイドイン品川 PR 事業	8
		新製品・新技術開発促進事業等	88
	港区	新製品・新技術開発支援事業	27
	府中市	新製品・新事業支援	6
	その他		306
小計（比率%）		784(15.1%)	
団体等	東京商工会議所	勇気ある経営大賞等	68
	(公財)日本発明振興協会	発明大賞表彰	271
	(一財)機械振興協会	新機械振興賞	32
	東京都中小企業団体中央会	受注型中小製造業競争力強化支援事業	609
	多摩信用金庫	多摩ブルー・グリーン賞	150
	その他		31
	小計（比率%）		1,161(22.3%)
	合計（比率%）		5,200(100%)

3.8.3 海外展開技術支援

(1) 国際規格対応支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP)

広域首都圏輸出製品技術支援センター (以下、「MTEP (エムテップ)」という。) は、1都10県1市の運営機関が連携して中小企業のための海外展開支援サービスを提供する。

運営機関：都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所、横浜市工業技術支援センター

中小企業の海外規格対応への支援について円滑かつ適切な運営を進めるために、以下のとおり運営機関による会議を開催した。

No.	開催日	開催場所	会議等名	内容
1	6月17日	埼玉県産業技術総合センター	第9回MTEP事務局会議	MTEP共同運営機関の海外展開支援に対する助成事業の状況について
2	10月28日	神奈川県産業技術センター	第10回MTEP事務局会議	外部機関との海外展開支援の連携事例について
3	2月10日	東葛テクノプラザ	第5回MTEP運営委員会	各機関海外展開支援事例報告

1) 専門相談員による技術相談

都産技研に次の17名の専門相談員を置き、相談に対応した。

専門相談員氏名	技術分野
生島 博	知的財産全般、権利取得・管理・活用
石井 満	CEマーキング、各国認証制度、取扱説明書
板谷雅樹	航空機関連、宇宙衛星機器関連、米国規格
井原房雄※1	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
岡野雅一	RoHS指令、REACH規則
奥野克幸	中国規格、安全規格
忍足光史	各国薬事法規制
金田光範	機能安全（自動車・電子機器）
元 淑華	EMC・安全・無線の各国認証
小西 颯	CEマーキング、医療機器指令
篠崎厚志	EMC、CEマーキング
福井 寛	EU化粧品規制
藤ノ木修二※2	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
松浦徹也	RoHS指令、REACH規則、WEEE指令
松尾 渉※1	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
森 浄	CEマーキング、低電圧指令、EMC指令
吉川 保	CEマーキング、機械指令

※1 平成28年 6月から

※2 平成28年 9月まで

2) 普及啓発活動

① 技術セミナー

都産技研主催の技術セミナーを48件開催した(5.1 技術セミナー、講習会一覧参照)。

- ・グローバル人材育成セミナー 13件
- ・現場で役立つシリーズ 6件
- ・海外規格精通シリーズ 3件
- ・世界に通用するものづくりセミナー 3件
- ・MTEP ミニ講座など 17件
- ・MTEP V-learning 6件

② MTEP 共同運営機関連携セミナー

MTEP 共同運営機関へ専門相談員を派遣し、連携セミナーを4件開催した。

No.	開催日	実施場所	名称
1	6月23日	群馬県立産業技術センター	分析技術講演会
2	9月15日	栃木県産業技術センター	平成28年度海外規格セミナー
3	11月24日	新潟県工業技術総合研究所	【グローバル人材育成】「CEマーキング+改正RoHS指令 解説」
4	2月27日	新潟県工業技術総合研究所	【グローバル人材育成】「CEマーキング 機械指令」

③ 他機関主催イベントでの講演等

他機関主催イベントへ専門相談員や都産技研職員を派遣し、セミナーを8件実施した。

No.	開催日	主催者	実施先の名称	実施場所
1	5月26日	滋賀県工業技術総合センター	海外展開技術支援事業セミナー (職員向けセミナー講師)	滋賀県工業技術総合センター
2	9月8日	(一社)東京環境経営研究所	化学物質管理政策の現状と課題 -chemSHERPAを国際標準へ- (JASIS2016)	幕張メッセ
3	9月16日	滋賀県工業技術総合センター	はじめての海外展開に役立つセミナー	滋賀県工業技術総合センター
4	10月31日～ 11月2日	中小企業世界発信プロジェクト推進協議会	ビジネスチャンス・セミナー (ビジネスフロンティア・フェア)	東京ビッグサイト
5	11月18日	滋賀県工業技術総合センター	海外輸出(国際規格対応)に役立つセミナー (RoHS、EMC)	滋賀県工業技術総合センター
6	2月14日	(国研)産業技術総合研究所	環境・エネルギー部会・分科会・研究会合同総会(産業技術連携推進会議)	都産技研本部
7	3月23日	(公財)東京都中小企業振興公社	平成28年度「東京手仕事」プロジェクト 海外輸出規制セミナー	都産技研城東支所
8	3月27日	(地独)大阪府産業技術総合研究所	産技研技術セミナー ものづくり企業の海外展開支援サービス	大阪府立大学 I-site なんば

④ 海外規格情報の閲覧サービス

Web サーバーまたは冊子にて海外規格情報の閲覧サービスを提供した。

ア. Web サーバーにて閲覧できる海外規格 IEC、ISO、JIS

イ. 冊子にて閲覧できる海外規格 AMS、ASTM、EN、IEC、ISO、MIL など

⑤ MTEP メールニュース

海外規格セミナーや各種イベントの情報など、海外展開支援情報を提供する MTEP メールニュースを配信した。

配信回数 計 14 回

配信登録数 約 2,400 件

3) 相談実績

相談実績は以下のとおりである。

① 相談方法別 (件)

相談方法	件数	相談方法	件数
電話	71	メール	719
来所	388	テレビ会議	13
実地支援	16	オーダーメイドセミナー	8
		その他	23
		合計	1,238

② 相談企業所在地別 (件)

	東京都	茨城県	群馬県	栃木県	埼玉県	千葉県
件数	806	8	12	10	83	15

	神奈川県(内、横浜市)	山梨県	長野県	静岡県	新潟県	その他
件数	128(56)	0	18	29	18	111

③ 相談企業規模別 (件)

中小企業	963
大企業	260
その他	15
合計	1,238

4) 刊行物

中小企業への技術情報提供のため、海外規格の概要をまとめた「海外規格テキスト」など、以下の刊行物を発行した。

① 海外規格テキスト

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	東南アジア(マレーシア、シンガポール、タイ)編	平成 28 年 9 月	1,000
2	CE マーキング EU 指令	平成 29 年 2 月	2,000
3	CE マーキング EMC 指令	平成 29 年 2 月	2,000
4	CE マーキング 低電圧指令	平成 29 年 2 月	2,000
5	CE マーキング RoHS 指令	平成 29 年 2 月	2,000
6	CE マーキング 機械指令	平成 29 年 2 月	2,000

② 東京都 平成 28 年度 海外展開技術支援「海外規格適合化の普及啓発」事業 海外規格解説ガイドブックシリーズ

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
4	各国無線認証制度～欧州、米国、中国、韓国、台湾～	平成 29 年 1 月	3,000
5	各国省エネルギー制度～欧州、米国、中国、韓国、台湾～	平成 29 年 1 月	3,000
6	CB 認証制度と IEC 62368-1	平成 29 年 1 月	3,000

③ 海外展開支援事例集

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	平成 28 年度 都産技研 MTEP による海外展開事例集	平成 29 年 3 月	1,000

④ リーフレット

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	広域首都圏輸出製品技術支援センター サービスガイド (増刷)	平成 28 年 10 月	2,000
2	MTEP 専門相談員紹介パンフレット(増刷)	平成 28 年 10 月	2,000
3	都内中小企業の皆さまへ 海外展開支援サービスのご紹介 (増刷)	平成 29 年 3 月	2,000

(2) 海外支援拠点（バンコク支所）

平成 27 年 4 月に設立した都産技研初の海外拠点であるバンコク支所では、ASEAN に展開する日系中小企業へ技術相談や技術セミナーを実施している。技術相談では都産技研本部とのテレビ会議システムなどを活用し、技術的課題の解決を図った。

1) 技術相談

試験規格、製造委託先の紹介や製品不具合などの技術相談を 314 件実施した。より専門的な相談内容については、本部職員を交えテレビ会議システムを活用し解決を図った。

主な相談事例

- ・電気試験、材料強度試験や塩水噴霧試験などに関すること
- ・金属材料の品質管理、不具合対策や成分分析に関すること
- ・タイ国内やヨーロッパの製品規格に関すること
- ・めっき加工委託、プラスチック製品の製造メーカーや校正機関の紹介に関すること

2) 展示会での周知活動

バンコク支所事業の周知活動としてタイ国内開催の展示会に出展した。

- ・INTERMACH2016 併設：SUBCON THAILAND 5月*
- ・Manufacturing EXPO 併設：ものづくり商談会 6月
- ・METALEX 2016 11月

*公益財団法人東京都中小企業振興公社ブースと共同展示

3) 産業人材の育成

① 技術セミナー

日系中小企業からの開催要望が多いテーマに関して、本部とのテレビ会議システムを活用して計 5 回実施した（5.1 技術セミナー・講習会参照）。

② 連携セミナー（首都大学東京）

日系企業技術者向けに、首都大学東京と連携し、セミナー「生産技術レベルアップのための工学基礎～生産自動化のためにエンジニアは何を学べばよいのか～」を 2 会場で開催した。

③ 技術情報勉強会

日系中小企業が現場で抱える人材育成や品質管理などをトピックスとした勉強会を計 5 回開催し、情報提供を行った（計 105 名参加）。

主な実施テーマ

- ・「IS09001 勉強会」～ISO 9001：2015 年度版 改正内容及び要求事項の理解～
- ・タイで品質管理を行うということ
～タイと日本とで品質管理の方法論が異なるのか～

4) 産業交流事業

① 異業種交流会

平成 28 年 4 月、公益財団法人東京都中小企業振興公社タイ事務所と共同運営する「異業種交流会 IN バンコク」を発足した。会員企業をバンコク支所ウェブサイトなどで募集し、17 社が活動している。

回数	実施機関名	開催日
第 1 回	運営方法の検討	5 月 19 日
第 2 回	講演会「タイでの労務管理」 講師：(公財)東京都中小企業振興公社アドバイザー	7 月 13 日
第 3 回	タイの職業訓練学校 Eastern Technological College の見学	9 月 14 日
第 4 回	講演会「タイ最新経済事情」 講師：GDM(Thailand)Co., Ltd. 高尾博紀氏	11 月 9 日
第 5 回	講演会「タイから日本への人材派遣事業」 講師：(公財)国際人材育成機構ほか	1 月 18 日

② ものづくり企業交流会

現地日系企業への情報提供や交流推進を目的に都産技研の業務協定締結機関と連携し、「ものづくり企業交流会 2017 IN バンコク」を開催した。(参加者 71 名)

第 1 部では、顧客のニーズの多様化や技術の高度化に基づく競争力強化に対応するために、ASEAN での産業動向、ならびに自動車産業向けの技術開発の最新情報を紹介した。第 2 部では、名刺交換会などのビジネス交流会を開催した。

③ タイ試験機関見学会

現地日系企業から要望の多いタイ国内試験機関の見学会を 6 回開催した。

回数	実施機関名	参加者数	開催日
第 1 回	SGS(民間試験所)	16 社 20 名	4 月 28 日
第 2 回	コベルコ科研(民間試験所)	18 社 19 名	5 月 25 日
第 3 回	Thai-German-Institute(民間試験所)	12 社 16 名	7 月 25 日
第 4 回	Iron and Steel Institute of Thailand (タイ鉄鋼協会)	9 社 12 名	8 月 24 日
第 5 回	IMV(民間試験所)	7 社 11 名	11 月 2 日
第 6 回	FUTURE TECH(民間試験所)	8 社 9 名	12 月 15 日